

一九一〇（明治四十三）年



エディンバラ世界宣教会議会場風景

May 5, 1910

5th, Thursday

家族一同並ニ送別ノ為来レル荒川千代、和田仙太郎、沼澤龍雄、津田榮、熊野雄七氏等ト共ニ讚美歌ヲ謳ヒ、詩篇百二十ヲ朗読シ、祈祷ヲ捧ゲテ後一同ト共ニ出發ス。品川停車場前ニ學院ノ教員、生徒一同齊列シテ余等ノ至ルヲ待ツ。生徒ニ対シテ一言別ヲ告テ去ラシム。停車場ニハ外国教師、神学部教授、生徒、教役者等百名以上見送ノ為待合シタリ。

發車ニ臨ミ一同万歳ヲ唱フ。自ラハ帽ヲ振テ之ニ答フ。

二等車ニハ今回大連基督教青年会主事トシテ赴任スル守瀬氏及ビ妻子アリ。二等ハ矢張満員ノ様子ナリ。一等ハ七八人ナリシカドモ、左右ニ喫煙スル人アリテ少シク閉口シタリ。

車内ニ横臥スルノ余地ハ十分アリタレトモ、矢張究屈ニテ安眠ハ出来ザリキ。

May 6th, Friday

午前七時半三宮駅ニ到着。直チニ人車ヲ傭ヒテ海岸ニ赴ク。大黒屋廻漕店員ノ世話ニテ守瀬氏一行ト共ニ開城丸ニ乗込ム。然ルニ船ニハ未タ乗客ヲ迎フルノ用意ナク、

暫時甲板上ニ待タリ。漸ク給事^給来ル。余ハ一号室ノ一ナリ。一室六人ヲ容ル、割ナリ。

朝来微雨降ル。氣候ハ思ノ外冷氣ナリ。

船ニテ留主宅及文雄へ宛端書ヲ出ス。

神戸ノ大阪商船支店ノ船客掛ニ大津久之介ト云フ人アリ。

東北学院出身ノ由ニテ自ラ紹介シタリ。

瀬戸内海ハ曇天雲霧ノ為ニ景色モ見ルベキモノナシ。只

大小群島ノ頭ガ彼処此処ニ幽カニ見ユルノミ。

午後九時、入浴シテ後寢ニ就ク。海上ハ至極靜謐ナリ。

May 7th, Saturday

昨夜ハ濃霧ノ為船ノ進行遅々タリ。屢々汽笛ヲ鳴シタリ。門司へハ七時比着ノ筈ノ処、濃霧ノ為八時過ニ到着シタリ。着港ノ上、留主宅へ書状ヲ出ス。武洋丸ハ如何ト尋ネタル処、昨日播摩灘ニテ行違ヒタリト云フ。間モナク文雄ヨリ書状達ス。果シテ五日朝門司ヲ出帆スルガ故ニ、多分播摩灘辺ニテ逢ハント云ヘリ。

船中ノ待遇ハ格別申分ナシ。二等ニテモ差支ナシ、一等ハ其割ニ善カラズトノ事ナリ。但室内ハ中々究屈ナリ。

今日ハ終日雨天ニテ鬱陶敷カリシ。

夕食ニハ事務長ノ案内ニテ特ニ余ト永井氏トニ洋食ヲ饗

セラル。

門司ヨリ数人ノ乗客アリ。二等室ハ殆ンド満員トナレリ。

May 8th, Sunday

昨夜モ海上至テ静穩ナリキ。午前三時半目覚メタレバ「ハーレー」彗星ヲ見ント欲シテ甲板上ニ出テ、見タレトモ、雨天ニテ何モ見エズ。

朝飯後、食堂ニ於テ満州又ハ台湾生蛮ノ事杯談話シタリシニ、俄然船ノ進行息ミタルガ故ニ何事カト思ヒ寢室ノ丸窓ヨリ外ヲ見タルニ、僅カニ五六間ヲ隔テ、岩石ノ凡然トシテ聳ユルヲ見ル。且頂上ニテ頻リニ空鐘ヲタ、キ、「アブナイ、アブナイ」ト連呼スル声ヲ聞タリ。実ニ危機一髪トハ此事ナランカ。船長ガ今一分間氣付ザリセバ、船ハ岩石ニ衝突セシナランガ、幸ニ其厄難ヲ免レタリ。朝鮮多島海ノ濃霧ハ実ニ危険ナリ。船ハ暫時進行ヲ止メ、「ガス」ノ晴ル、ヲ待ツ中ニ、島ヨリ一隻ノ小舟ノ来ルヲ見ル。即チ燈台ノ役人ガ信号汽笛破損シテ用ヲナサバ、ルガ故ニ大連ヨリ仁川ヘ電信ヲ打呉レヨトノ依頼ノ為ニ来レルナリ。

停船約二時間ニシテ復ビ進行ヲ始ム。後ニテ聞ケバ此島ハ港門島ト称スル島ニテ、其岬ニ燈台アリ。又船長太田

某ハ曰ク、船ノ島ニ最モ接近シタリシ時ニモ尚三百間ノ間隔アリキト。然レトモ乗客ハ之ヲ信セズ。

海上ハ極メテ静穩ナリ。午後二ハ日脚モ見ヘタリ。

夜ハ又々事務長ノ厚意ニテ洋食ノ饗応アリ。又三等ノ客室ニテ船員等ノ娛樂アリトノ案内アリ。一寸様子ヲ見ニ往キタレトモ、ソノ話陋劣ニシテ聴クニ堪ヘズ、半途ニシテ帰り寝ニ就ク。

May 9th, Monday

海上平穩、昨日ノ如シ。但時々濃霧来ル。汽笛ヲ鳴ラシツ、進行ス。無聊ニ堪ヘズ、輪投ヲシテ遊ブ。昨日正午ヨリ本日正午マデ二百八十二里（四里）ヲ駛ル。大連マデ余ス所尚百〇二哩（四里）アリ。

普通午後四時大連着ノ筈ノ所、五時間延着シテ正九時ニ投錨ス。途中西方ニ当リテ大孤山及ビ円島ヲ見ル。

夕食ニハ小豆飯ノ馳走アリ。無事着港ヲ祝スルノ意カ。

乗客中ニ満州日々新聞記者伊原幸之助ナル人アリ、能ク談論ス。談宗教ノ事ニ及ビ、キリスト教ハ国家ヲ無視スト云ヒ、又猥リニ万国青年会ト称シテ不都合ナリトテ、得々然トシテ論談ス。又乗客中ニ吉田嘉一郎ナル人アリ。其甚タ無根ナルヲ弁明ス。余モ聞クニ堪ヘズ一言ヲ加ヘ

テ、伊原氏ノ議論ノ事實相違ナルコトヲ弁ジテ止ム。

吉田氏ハ台湾及ビ滿州ニ於テ多年警視又ハ民政署長等ヲ奉職シタル人ニテ、クリスチアンノ由ナリ。先方ニテハ余ノ名ヲ聞キテ驚キタリ。「ソレデハ有名ノ井深サンデスカ」ト。又伊原氏ハ彦三郎ヲ能ク知レリト云ヘリ。又乗客中ニハ正金銀行ノ人二人アリ、孰レモ彦三郎及ビ和田俊夫ヲ知ルト云ヘリ。

今夜ハ大連ニ於テ集会アル筈ナリシガ、^{〔A.〕} 嚙失望セシコトナラント推察セラル。

明朝ハ午前七時上陸トノ事ナリ。先ツ〳〵海上無事着港シタルハ感謝ノ至ナリ。

May 10th, Tuesday

船客一同、午前五時前ヨリ起床、檢疫官ノ来ルヲ待ツ。檢疫結了後、朝飯ヲ喫シ、各自荷物ノ用意ヲ為シテ、船ノ棧橋ニ着クヲ待ツ。漸クニシテ二隻ノ曳船来リテ船ヲ棧橋ニ近カ寄ラシム。橋上ニハ数十名ノ信徒出迎フ。導カレテウキン氏ノ宅ニ投ズ。貴山氏アリ。旅順ヨリハ嶋村氏来リ、安東県ヨリハ竹内氏来ル。

暫時休息ノ後、大塚素氏ニ導カレテ北公園ノ倶楽部ニ往キ、滿鉄会社練習生四十名許ニ講話ヲ為ス。了リテ本社

ニヨリ、社内ヲ巡視シテ後、食堂ニ於テ昼食ノ饗応ヲ受ク。食後、総裁及副総裁ニ面会シテ、青年クラブノ図案及ビ彼等ガ大塚氏ト共ニ全線ヲ慰問シタル時ノ写真等ヲ見ル。

別ヲ告ゲテ教会ニ来リ、信徒修養会ニ於テ一場ノ勸ヲ為ス。多少ノ感動ヲ与ヘタルガ如シ。

ソレヨリ、ヒバート氏ニ招カレテ大和ホテルニ赴ク。基督教青年会及同主事守瀬氏披露ノ為、滿鉄ノ重役連及ビ三井物産、正金銀行等ノ人々ヲ招待シタルナリ。卓上ニ於テ基督教青年会ノ目的及性質ヲ説明シテ、彼等ノ賛助ヲ求ム。

夕食後、再ビ北公園クラブニ赴キ、見習生百名許ニ講話ヲ為ス。国澤氏及数名ノ職員モ列席シタリ。

大連ニ於ケル滿鉄ニ対スル任務ハ先ツ之ニテ結了。

May 11th, Wednesday

大塚氏ノ案内ニテ、ウキン氏同道、電気公園ヲ見物シ「エ」ヨリ中央試験所ヲ視察ス。所長某ハ渡欧中ニテ不在ナレトモ、明治学院ノ出身者土島氏アリ、叮嚀ニ説明シタリ。

昨蚤ヲ以テ製シタル絹糸縮緬、豆油、高粱紙等ノ見本ヲ

見ル。中々面白シ。又ヤママヒ絹ノ工場ヲ一見ス。

右ヲ辞シテ基督教慈恵病院ヲ慰問シ、ソレヨリ大連公学堂ヲ參觀ス。生徒二十才前後ヨリ六七才ノ者約百人、唱歌体操等ヲ為シテ我等ニ觀セシム。彼等ガ「浦島」ノ歌ヲ唱ヒタルハ中々奇ナリキ。校長ハ浅井某ナリ。

ウキン氏方ニ於テ午餐ヲ喫シテ後、教会ニ婦人大会アリ。「初代教会ニ於ケル女信徒」ト題シテ一場ノ講話ヲ為ス。会集五十人許アリ、中々盛会ナリ。

タニハ電気公園ニ於テ歡迎会アリ。洋食ノ饗応アリ。来会者約五十人、中々盛会ナリ。数名ノ未信者モ加レリ。夜、教会ニ於テ演説会アリ。貴山氏先ヅ演説シテ後、余ハキリスト教ノ使命ト題シテ約四十五分間演説ヲ為シタリ。第一、活神、第二、人格、第三、奉事ノ精神ヲ宣伝セントスルモノナルヲ説ク。聴衆三百名以上。中村總裁、国澤副總裁等モ出席シタリ。但貴山氏ノ演説例ノ如ク長ク、司会者ノ不熟練ナルハ残念ナリキ。

May 12th, Thursday

午前八時、ウキン氏方ヲ辞シ停車場ニ赴ク。杉本氏、大塚氏等送來ル。貴山氏モ來リ、同氏ト共ニ旅順ニ來ル。旅順ノ停車場ニハ嶋村、竹内ノ二人、西川夫人、西尾生

等出迎フ。

手荷物ヲ西尾生ニ托シ、貴山、嶋村、竹内ノ三人ト共ニ白玉山ニ登リ、表忠碑ヲ見、紀念ノ為、絵葉「書」並ニ閉塞船ノ木材ヲ以テ作りタル硯箱壹個ヲ求ム。表忠碑ニ昇ルノ許可ヲ得タレトモ、烈風ノ為ニ見合セタリ。

貴山氏ト共ニ馬車ヲ驅リテ、新市街ノ杉森此馬氏ノ宅ニ赴ク。同氏方ニテ午餐ヲ饗応ヲ受ケ、入浴休息シテ四時半ヨリ月見俱樂部ニ於テ中学校ノ生徒百数十名ト工科学堂ノ生徒数名及ビ教員、官吏数十名ノ為ニ一場ノ講話ヲ為ス。元來工科学堂ノ生徒ノ為ニスル筈ナリシニ、彼等實地演習ノ為ニ差支アリテ來ラザリシハ遺憾ナリキ。工学士草刈氏司会ヲナス。同氏ハ青年会々長ナリ。杉森氏、余ヲ紹介シタリ。

杉森氏方ニ於テ夕飯ヲ喫シ、旧市街青葉町ノ教会堂ニ赴ク。貴山氏先ヅ演説シ、余モ亦大連ニ於ケルト同一ノ題ヲ以テ一時間演説シタリ。聴衆満堂靜聽シタリ。

演説ヲ終リ、乃木町ナル西川玉之助氏方ニ招カレテ宿泊スルコトトナレリ。但同氏ハ旅行中ニテ不在ナリ。

旅順ノ町ハ、三十九年ニ來リシ時ト外觀ニ於テサシタル變動ナシ。但市街ノ幾分カ秩序立チ且清潔ニナレルヲ見

ルノミ。新市街ハ依然トシテ寂莫タリ。工科学堂ノ生徒中ニハ寂莫ニ堪ヘズシテ逃ケ帰レルモノアリト云フ。

May 13th, Friday

朝食後、当地ノ弁護士鎌田某来リテ宗教上ノ質問ヲ為ス。同人ハ安重根ノ最後ヲ目撃シテ大ニ感ズル所アリ、今ヤ宗教ニ心ヲ傾ケツ、アリト云フ。約一時間質問ニ応ジテ談話ヲ試ミタリ。

嶋村氏ト散歩シテ元ノ礼拝堂ヲ見ル。貴山、竹内等ト共ニ満州伝道ノ事ニ付協議シ、満州伝道協議会ナルモノヲ設立スルコトニ定ム。又紀念ノ撮影ヲ為ス。

午後、教会ニ於テ婦人会アリ。竹内氏ト共ニ一場ノ講話ヲ為ス。西川夫人司会ヲ為ス。

夜八時ヨリ教会ニ於テ再ビ演説。竹内虎也氏先ヅ演シ、然シテ後余モ不朽ノ生命ト題シテ約一時間演説ス。聴衆ハ前夜ト同ジク静聴セリ。

西川夫人ノ話ニヨレバ、午後婦人会ノ話ニハ大分の中セ所アリシ由、固ヨリ自分ハ何ヲ知ラズ、単ニ一般ノ事ヲ述ベタルニ過ギズ。殊ニ当地屈指ノ財産家ノ夫人ノ如キハ、正シク自家ノ場合ニ当ルト云ヘリトノ事ナリ。新開ノ地、道德的制裁ノ薄弱ナル所、此々皆然リト云フ。

May 14th, Saturday

午前八時、宮城ト云フ写真店ニ於テ教会員十数名ト共ニ紀念ノ撮影ヲナス。天気ハ快晴ナリ。東京ノ友人ニ宛絵葉書兩枚ヲ出ス。

午前十一時、西川夫人、嶋村、草薙氏等ニ送ラレテ旅順ヲ去ル。

午後零時二十五分、大連ニ着ス。ウキン氏及杉本氏出迎フ。再ビウキン氏ノ家ニ投ス。午餐後、ウキン氏ト共ニヒツバード氏ヲ訪問ス。守瀬氏モ住宅ヲ見付テ落付タル由ナリ。京城ノ丹羽氏ヨリ伝言アリ、漸々好都合ノ由ナリ。

貴山、秋山、杉本ノ諸氏来訪ス。杉本氏ニ旅順ニ於テ求メタル紀念ノ硯箱ト大連ノ絵葉書ヲ托ス。クレメント氏ハ昨日当地ニ来リ、今朝旅順ニ往キ、明夕帰り、火曜ノ急行車ニテ北行ノ赴伝言アリ。奉天ニ於テ待合スル筈ナリ。

旅順ヨリモ大連ノ方余程熱キ様ナリ。曇天ナレトモ雨降ラス。

May 15th, Sunday

昨日午後七時、ウキン氏方ヲ辞シ、同氏、杉本、貴山其

他ノ人々ニ送ラレテ大連ヲ出発ス。大塚氏ハ見習生ヲ卒ヘテ同車中ニアリ。又同車中ニ（四谷？）氏アリ。橋頭タンネル工事及ビ教会設立ノ事ヲ語ル。

午前七時三十分、奉天ニ着車ス。彦三郎並教会員数名出迎フ。彦三郎ノ案内ニテ馬車ニテ同人ノ家ニ至ル。日本ノ実業團来奉中ニテ日本人ハ混雜ノ際ナリ。彦ノ住宅ハ境内六百坪、建物ハ応接ノ間、書齋、食堂、寢室等各々十畳敷位ノ支那家ニテ手広キ住宅ナリ。

入浴ノ後朝飯ヲ喫シ、中江氏ノ案内ニテ新市街ナル教会堂ニ至リ説教シ、山下英雄ナル人ニ授洗シ、且一同聖晚餐ヲ執行ス。信者ノ数約二十名ナリ。平素出席スルモノ八十四名ナリトノ事ナリ。

礼拝後、東洋ホテルニ招カレテ午餐ヲ喫ス。但二時比ナリキ。教会ノ有志者六七名参列ス。食後入浴シテ休息ス。夜食ヲ喫セズ、午後八時ヨリ教会ニ於テ再び説教ス。午後ヨリ雨模様トナリ、且不便ノ場処ナルガ故カ、聴衆ハ極メテ少数ナリキ。

再び中江ノ嚮導ニテ彦三郎ノ家ニ帰ル。時二十一時前ナリキ。

May 16th, Monday

今朝ハユツクリ休息シタリ。身体ハ思ヒシヨリモ疲レタリ。夜行列車中睡眠不足ノ為ナラン。

入浴喫飯ノ後、彦三郎同道、小池総領事ヲ訪問ス。実業家ヲ案内シテ北陵ニ往キタリトノ事。ソレヨリ居留民会事務所ニ往キ、クラブ及ビ病院ヲ見ル。院長某ノ案内ニテ院内ノ様子ヲ見ル。未タ整頓セズ。經費不足ノ為ナリ。帰途、城壁ノ上ニ登リテ四方ヲ眺望ス。天氣晴朗、神氣愉快ヲ感ズ。

午後、居留民團書記某ノ案内ニヨリ宮殿及其宝物ヲ觀ル。兎毛角モ一通リハ修繕モ出来シ。卅九年ニ觀シ時トハ全ク面目ヲ改メタリ。宝物モ昔日ト異ナルナシ。乾隆帝ノ兜、羽織、印鑑等ナリ。

宮殿ヲ去ツテ市街ヲ散歩ス。市街ノ光景ハ前年トハ大ニ面目ヲ改メタリ。見世ノ様子モ奇麗ニナリ、道路モ善ク、且人口モ数倍シタルガ如シ。且店頭ニ日本製品ノ多キコト著明ナリ。

夕食ハ彦三郎ノ案内ニテ小西洋料理店ニ於テ喫ス。風味佳ナリ。軍医杉山氏モ共ニ招カル。

今日一日休養シテ元氣大ニ回復シタルヲ覺ユ。

May 17th, Tuesday

午前二時半、彦ト共ニ起テ「ハーレー」彗星ヲ見ル。ソノ核ヲ見ルコト能ハザリシハ残念ナリキ。然レドモソノ尾ハ東ノ地平附近ヨリ銀河ニ達セントス。実ニ壯觀ナリキ。且満州ノ地、空氣透明ニシテ、列星ノ光燦爛、内国ノ秋天ノ如シ。三時ニ再ビ起テ之ヲ見タレトモ、ソノ時ハ既ニ夜明ニ近ク光ハ幾分カ薄クナリタリ。

今日ハ小池総領事ヨリ彦三郎ト共ニ午餐ニ招カレ、午後二時ニハ新市街ノ小学校ニ於テ話ヲ為シ、ソレヨリ日本人俱樂部ニ於テ講話ヲ試ミ、其後又會食ニ招カレタリ。金六亭ニ於テ日本食ノ饗応アリ。來會者ハ奉天クラブノ評議員十数名ナリ。八時半、同所ヲ辞シ、彦三郎ノ住宅ニ歸リ、旅装ヲ整ヘテ、彦三郎ト共ニ三井ノ馬車ニテ停車場ニ向フ。

奉天停車場長名川某ハ、昔日本挽町ニテ近所ニ住居シタル人ナリ。クレメント氏ハ大連ヨリ來ル。午後十時四十分出發ス。

May 18th, Wednesday

午前六時、長春ニ着。和田俊雄、停車場ニ出迎フ。直チニ大和ホテルニ往キテ朝食ヲ喫シ、自分ハ長春小学校長ノ依頼ニヨリ同校ニ赴キテ一場ノ話ヲ為ス。生徒百五十

名許ナリ。

午前十一時五十分 長春ヲ發ス。是ヨリハ愈露國ノ鉄道ナリ。

午後八時半、ハルピンニ着ス。はがきヲ出シ、停車場外ニ散歩ス。

十一時ニ浦塩ヨリノ列車來ル。之ヲ乗換フ。其際頗ル混雜シタリ。偶然、岡本敏行氏ニ逢フ。真野氏ハ既ニ寢ニ就ケリト云ヘリ。スタール教授ト同室ニ入ル。同氏及從僕ゴンサレス、並ニクレメント氏ト余ト凡テ一室四人ナリ。手荷物多ク中々究屈ナリ。

May 19th, Thursday

早朝起床、冷水ニテ身体ヲ拭取ル。

茫々タル原野ヲ西ニ向ヒテ奔ルノミ。

午後八時、マンジュリー駅ニ達ス。此ニテ旅券及ビ手荷物ノ検査アリ。但関稅ヲ課セラルベキモノアルヤ否ヤト口上ニテ聞タルノミ。意外ニ寛大ナリキ。但其前ニ車掌ニ一人一R宛心付ヲシタリ。

May 20th, Friday

平原ヲ通過シテ、左右ニ山河ヲ見ル。

午前八時、チタ府ニ達ス。日中ハ暑ニ堪ヘ兼ル程ナルニ、

尚地上ニハ残雪アリ。此暑氣ハ或ハハーレー彗星ノ尾ニ接触シタル為ニハ非ルカ杯ト戯レタリ。

May 21st, Saturday

午前四時起床。汽車ハ未明ヨリバイカル湖畔ヲ沿フテ走リツ、アリ。湖水ハ尚堅氷ヲ以テ蔽ハレツ、アリ。

九時半、バイカル停車場ニ着。アンガラ河ニ沿フテ走ル。実ニ盛ナル大河ナリ。

午前十一時、イルクツクニ着ス。同府ハシベリヤ第一ノ都会ナリト云フ。

May 22nd, Sunday

兩三日來、移民ヲ満載シタル列車ニ逢フコト頻繁ナリ。

日中暑氣甚シ。且沙風ノ襲來アリ。ヤガテ雨降ル。

日没、エネセ河ヲ渡ル。クラスノイアルスク市ヲ過ク。

May 23rd, Monday

朝ハ冷氣ニテ心地好シ。但日中ニハ暑氣烈シク、八十度以上ニ昇ル。然カモ尚地上ニハ処々残雪ヲ見ル。実ニ奇觀ナリトス。

夕刻、オビ河ヲ渡ル。

此日過キタル処ハ牧場幾百里、深林又幾百里、且金坑多シト云フ。実ニ広大ナル国ナリ。

May 24th, Tuesday

原野茫々タリ。

午前六時、オムスクニ着。大雨トナル。暫時ニシテ休ム。終日冷氣ヲ覺ユ。

夕刻、クルガンヲ過ク。沃野千里ノ眺望アリ。

ウラル山ノ名物タル宝石ノ売物アリ。

May 25th, Wednesday

昨夜來、ウーラルノ山中ニ入ル。但峻坂ニ非ズ。

午前六時前、欧亜ノ国境ヲ過ク。即チウーラルノ分水嶺ナリ。

ストウスト駅ニ於テ紀念ノ為宝石數個ヲ求ム。

冷氣ヲ覺ユ。

May 26th, Thursday

午前六時三十分、ヴォルガヲ渡ル。河モ盛ナリ、橋モ盛ナリ。殆ンド揚子江ノ如シ。橋ノ長サ一千三百六十二メイトルナリト云ヘリ。此ノ辺ノ光景ハ大陸ニシテ始メテ見ルヲ得ベシ。

May 27th, Friday

午前七時五分、予定ノ如クモスカウニ到着シタリ。

此ニ於テスタール氏ニ別ヲ告ゲ、真野、丸山、岡本、ク

レメント、マフヘット、余ノ六人ニテホテルベルリンニ投ス。

朝鮮人朴道錫ナルモノ案内者トシテ停車場ニ出迎フ。ホテルニ於テ各室ヲ定ム。ク氏ト余ハ同室ニテ、一人前室料三ルウブルナリ。

ソレヨリ、朴ノ案内ニテ雀ガ岡及救世主ノ大会堂ヲ見ル。雀ガ岡ト称スルハ、モスカウ河ノ彼岸ニテ、モスカウ全都ヲ一目ノ下ニ見ルベキ所ナリ。ナポレオン第一世ガ陣取タル所ナリ。今ハ水道ノ蓄水所ナリ。

岡ノ上ニ二三ノ茶屋アリ。少女等蹀足ニテ客ヲ引ク様ハ日本ノ田舎ニモ見ザル所ナリ。

モスカウ河ヲ小蒸気船ニテ上下ス。絶景ナリ。病院ノ廣大ナル驚クニ堪ヘタリ。^{マロ}

救世主ノ大会堂ハ、露仏戦争紀元^元ノ為ニ建築セラレタルモノ、其経「費」一千二百万円ト云フ。実ニ荘大美麗ナリ。

本日ハ露帝戴冠祭日ニテ、クレムレン始メ博物館等皆見ルコト能ハズ。依テ午後八宿ニテ書簡ヲ認メ、且小西氏ノ案内ニテ真野氏ト共ニ露国式風呂ヲ試ミタリ。久振ノ入浴ニテ実愉快ニ感ジタリ。且ソノ仕掛ノ広大ナルニ驚

キタリ。但入浴料ハ一人ニ「ルウブル」ナリキ。

本日ハ対馬海峡戦争ノ記念日ナルコソ実ニ奇妙ナリ。

May 28th, Saturday

午前十時、朴ヲシテ荷物ヲ停車場ニ預ケシメ、ホテルノ仕払ヲ為シ、十一時ヨリ同人ノ案内ニテ、クレメント、モヘット、岡本等ト共ニクレムリン宮殿ニ往キ、ソノ諸部ヲ見ル。宮殿ノ中心ニ小会堂アリ、之ヲクレムリンノ起源ト為スト云ヘリ。又ナポレオン第一世ガ三泊シタリト云フ寝台等アリ。当時ノ宮殿ハ実ニ質朴ナルモノナリ。只戴冠式ノ行ハレタル正殿ハ中々荘大ナリ。

クレムリン宮殿ヲ見テ後ニ、絵画館ヲ見ル。就中最モ見ルベキハウエレスチャージンノ作ナリ。露土戦、露仏戦争、饑饉ノ山ノ如キ最モ傑作ナリ。同画伯ガ旅順港外ニ歿シタルハ実ニ遺憾ナリキ。

終ニ「アルケード」ヲ一見シタリ。中々盛大ナル組織ナリ。ブラセルスノ夫レニ酷似ス。

午後六時半ヨリ真野、丸山、岡本氏等ト共ニ日本副領事花岡氏方ニ招カル。土曜会員五六名ト共ニ日本料理ノ饗応ヲ受ク。自ラ本国ヨリ携ヘタル干海苔、カキ餅、ビスケット等ヲ寄附シタルニ一同大喜ナリキ。料理人ハ小西

増太郎氏ナリ。

午後、余ト岡本氏トハ同所ヲ辞シ、一旦ホテルニ帰り、クレメント氏ト共ニ朴ヲ伴ヒテニコラス停車場ニ至ル。待ツコト約壹時間ニシテ発車ス。露国式二等寢台車ハ至極便利ニテ、日本ノ一等寢台ニ勝レリ。

May 29th, Sunday

昨夜来降雨ニテ寒氣ヲ覚ユ。午前九時十五分、ペテルスベルグ府ニ着車ス。三人相携ヘテホテルデアングリテール（英国ホテル）ニ投ス。

見物ハ明「日」ニ譲ル予定ナリシガ、月曜日ハ大抵ノ所ハ見ル能ハズトノ事故、不得止案内ヲ雇ヒ、先ヅセントアイザックノ大会堂ニ往キ、暫時讚美歌ヲ聞キ、ソレヨリヘルミターヂノ博物館ヲ見ル。絵画中見ルベキモノ多シト雖、最モ注目スベキミウレルローノ大作共ナリト思ヘリ。ラファエルノモノハ傑作ト思ハレズ。其他フレミン、オランダ、エギリス、ゼルマン派等見ルベキモノ少カラズ。但時間ノ迫レルガ故ニ、只之ヲ瞥見セシノミ。實ニ遺憾ナリキ。

ホテルニ帰り午餐ヲ喫シタル後、各宮殿ヲ見ル。是レ実ニ莊大華麗ヲ極メタルモノ、筆紙ノ能ク尽ス所ニ非ズ。

右ヲ瞥見否通過シテ後ニ、夏公園及ビペテル大帝ノ御殿ナルモノヲ見ル。此ニハ大帝自製ノ細工物等アリ。中々面白シ。但極メテ質素ナルモノナリ。

此ヲ去リテ、アレキサンドルエフスキー修道院ノ讚美歌ヲ聞ク。其声ヤ実ニ美ナレトモ、只同一ノ事ヲ幾回トナク反覆スルノミニテ、何等ノ意味アルヤヲ知ラズ。且ソノ大会堂ノ如キモ、ロマ教ノソレト大同小異ニテ、殆ント偶像教ノ觀アルヲ免レズ。日本人ガ之ヲ「御寺」ト呼ブハ無理ナラズ。

帰途、バロンニコライ氏ノ宅ヲ訪問ス。不在ナリ。名刺ヲ残シテ歸ル。夜ニ入り同氏来訪ス。同氏ノ招ニヨリ再び同氏方ニ赴キ、学生十数名ニ会见シテ一場ノ談話ヲ為ス。

May 30th, Monday

バロンニコライ氏ノデイ氏ヲ同伴シ来訪ス。デイ氏ハ露国学生ノ為ニ労働スルノ目的ヲ以テ、米国青年会ヨリ派遣セラレタル人ナリ。同氏ノ案内ニテ「マヤルカ」（燈台ノ意義）即チ露国特種ノ青年会館ヲ見ル。

主任ゲーロルド氏ハエデンボローニ往キ不在。体操教師某、館内ヲ案内ス。他ノ点ニ於テハ普通ノY.M.C.A.ト異

ナル所ナケレトモ、露国皇帝及皇后ノ肖像ヲ広間ノ正面ニ掲ゲタルノミナラズ、各室ニ「アイコン」ヲ掲ゲタル、実ニ奇妙ニ感ジタリ。畢竟スルニ、露国々教会ノ歓心ヲ買ハントスルガ為ニ招キタル必要ナリ。

ニコライ氏ノ周旋ニヨリ、休日ニモ不拘アレキサンドル三世博物館ヲ見ル。本館長某、殊更ニ出来リテ自ラ説明ノ旁ヲ取タルハ多トスベシ。本館ノ作ハ凡テ露国人ノ作ナリト云フ。就中ウエレスチアーギンノ作多々アレトモ、傑作ハモスカウニアリ。只同人ガ日本ノ建物人物等ヲ写シタルモノ数品アルハ珍シ。其他種々ノ大作ハアレトモ、妙品ト見ルハ稀レナリ。

午後、岡本氏ハ尚一日滞在スルコト、ナリ、クレメント氏及余ハ今夜出発ト定ム。

午前中ニ案内ヲシテ寝台ヲ買ハシメントシタレトモ、既ニ売切レテナシトノ事ナリ。依ツテ翌日ノ寝台ヲナイトクウネンニ電報ヲ以テ申込シメタリ。ホテルノコンダクトル曰ク、若シモ六ルウブルヲ出サバ、余等二人ノ為ニ一室ヲ買切ルコトヲ得ベシ。依テ彼ニ六ルウブルヲ托ス。彼又曰ク、然ルトモハ手荷物モ悉ク室内ニ持入ルコトヲ得ベシト。

午後十時十五分、ベルリンニ向テ出発ノ筈ナリ。デイ氏ハ同車ニテワルソウ停車場迄余等ヲ見送ル。露国ノ一学生モ亦来ル。コンダクトルハ行李ノ一ハ大ニシテ室内ニ入ルベカラズト云フ。且切符ハ二枚以上ハ出サズト云フ。依ツテ或ハ彼ガ為ニ三ルウブルハ全クセシメラレタルニハ非ズヤトノ疑ヲ起シタリ。然トモ不思議ニモ余等二人ノ室ニハ何人モ他ニ入来ラズ。終夜一室ヲ占領シテ安眠スルヲ得タリ。

察スルニ、停車場ノ出札掛ト相謀リテ、余等ヨリ二人分ノ代金ヲ受取り、切符ハ握潰シタルモノナラン。是レ即チ露国式ノ一ナランカ。

May 31st, Tuesday

午後四時半、露国々境ウキルバレンニ着ス。此ニ於テ旅券ノ検査ヲ受ク。此ニテルウブルヲマークニ交換ス。待ツコト一時間余ニシテ僅ニ数丁ヲ隔テタルアイトクウネンニ着ス。此ヨリ独逸領ナリ。

此ニ於テ荷物ノ検査ヲ受ク。但頗ル寛大ニテ殆ンド形式ニ過ギズ。クレメント氏ハ出札所ニ往キテ電報ノ受取ヲ示シ、寝台ノ事ヲ掛合シモ更ニ取合ハズトテ空ク帰り来ル。且又余及ク氏ノ行李ヲベルリン迄預ケタルニ、十マ

ルクラ要求セラル。是ニハ少ク驚キタリ。

夜中ハ寢台ニ非ルガ為ニ安眠スルヲ得ズ。頗ル困難シタリ。

June 1st, Wednesday

午前六時二十分、伯林フレデリヒストラセ停車場ニ到着ス。荒川文六出迎ル。

ペテルスベルグヨリウキルヘルムストラセノ青年会ホスピスニ電報ヲ打置キタレバ、先ツ同所ニ往キタレトモ、既ニ満員ニテ余室ナシトノ隣家^[テ]ノホテルニ案内シタリ。

依ツテ不得止クレメント氏ハ此ニ一室ヲ借ルコトトナシ、余ノ荷物モ此ニ置キ、余ハ文六ノ予メ頼置キタルボンシヨンニ一泊スルコトニ定ム。朝夕ノ食事ヲ包ミテ一日六マルクノ由ナレトモ、室ハ二十畳以上、寢台モ二個アリ、中々立派ナルモノナリ。ホテルニテハ部屋ノミニテモハマルク以上ノモノナリ。

ボンシヨンニ着キ、先ヅ第一ニ風呂ヲ命ジテ、数日来ノ汗ト労トヲ洗落シ、文六ト相携ヘテ市街ニ出テ午餐ヲ共ニシ、夫レヨリ動物園内ヲ散歩シ、然シテ当地第一ノデパートメントストアヲ一見シ、紀念ノ為絵葉書アルバム一冊ヲ求ム。

ベルリンハ、ペテルスボルグヨリ来テ見レバ、ソノ繁榮進歩驚クバカリナリ。去卅八年ニ来リタル時ニ比スレバ、ソノ繁榮數倍シタル如クニ感セラル。殊ニ目立ツハ自動車ノ往来^[車]佩ルガ如キコトナリ。又地下鉄道ノ如キモ其後ノ事ト信ズ。実ニ独逸ノ進歩ノ甚早ナルニハ驚クノ外ナシ。本日春期大觀兵式ノ祭日トテ、市中殊ニ賑ハシ。ボンシヨンニ帰り、内ヘノ書信ヲ認ム。十四日発ノ家信ニ接ス。一同無事ノ赴ナリ。

June 2nd, Thursday

午前八時半、荒川文六来ル。

ボンシヨンノ會計ヲセシニ、九マルクナリト云フ。最初荒川ノ約束シタル時ニハ、朝夕ノ食事ヲ込メテ一日六マルクノ筈ナリシニ、今トナリテ九マルクナリト云フ。面悪キ仕打ナレトモ喧嘩ニモナラズ、九マルクヲ払ヒテ去ル。独逸ノ下宿屋ハ油断ナラズトノ咄ナルガ、是レ亦其一例ナラン。

荒川ト相携ヘテホテルニ帰り、クレメント氏同道、ウンテルデンリント^[街]ン、ドーム、旧新博物館ヲ觀ル。王宮ハ昨日ノ宴会ノ為ニ縦覧ヲ許サレズ。リнденレストウレントニ於テ昼餐ヲ喫シ、近衛兵ノ交代ヲ見ミ、且絵画館

ヲ見ル。古画ハナケレトモ、新画中ニ傑作ト思ハル、モノ不少。

之ヲ辞シ、リング鉄道ニテ伯林ノ郊外ノ景況ヲ見、シヤーレッツホンボルクニ下車シ、チアルガルテンヲ通過シ、夕食ヲ喫シテホテルニ帰ル。一日ノ見物ニテ中々疲労ヲ覚ヘタリ。クレメント氏ノ如キハ大弱ニ弱ハレタリ。夜ニ入り石橋友信氏来訪、米國遊學ノ事ニ付依頼アリ。荒川ハ二週間前風邪発熱セシ赴ニテ、大ニ衰弱ノ様子ナリ。呉々モ衛生ニ注意スルヤウニ忠告ヲ与ヘ置タリ。

June 3rd, Friday

午前十時、ウキルヘルム、ストラセノ旅館ヲ出立シ、十一時四十五分、フレデリヒストラセノ停車場ヲ出發ス。荒川、石橋ノ二人停車場迄見送ル。

ハニ、ドルトマンド、エスセン等ノ製造地方ヲ經過シ、夕刻ライン河ヲ渡リ、ホツクステールニ於テ税関ノ検査ヲ受ク。極メテ寛大ナリ。

午後十二時比、フラツシングニ着、汽船ニ乗移ル。荷物其他ニ付テク氏ノ心配一方ナラズ、傍觀スルモ氣ノ毒ナルホドナリ。実ニ小心翼々タルノ人ナリ。乗船シテ暫時寝ニ就ク。

June 4th, Saturday

午前四時比呼起サル。然レトモ船ハ六時過迄着港セザリキ。上陸、税関ニ於テ荷物ノ検査ヲ受ク。至極寛大ナリ。但不思議ニモク氏ハ再び荷物ヲ開カセラレタリ。何故カ自分ハ再度共ニ開クヲ要セザリキ。

待ツコト暫時ニシテ発車シ、八時過ホルボルン停車場ニ着ス。此ニテク氏ト別ル。同氏ハ停車場ニ暫時留リ、余ハ直チニ馬車ヲ雇ヒテ、ベッドフォールドホテルニ投ス。

最初ハ満員ノ由ニテ謝絶セラレシカ、漸クニシテ一室ヲ得タリ。料ハ一日五ミル半ナリ。但朝食ト入浴料ヲ含ム。朝食ヲ喫シテ後、ジオルジウキルリアムスハウスヲ訪問ス。ハウ(フー)氏ニ面会ス。先方ニ於テ余ヲ記憶シタレトモ、余ハ記憶セズ。ジオルジウキルリア「ム」スノ伝ヲ贈ラル。記念トシテ之ヲ受領ス。

ソレヨリ自働車ヲ雇ヒテ、ロールドキナールドヲ訪問ス。明日同氏方ノ午餐ニ招カル。ハウアルトウキルリアムス氏ノ事務所ヲ問フ。氏自ラ戸外ニ出テ其道ヲ示ス。ソノ敏活深切共ニ称スベキナリ。

ペートルーストルロー迄歩行シテ、ウキルリアムスヲ訪問ス。不在ナリ。

フオブスト云フ店員出テ、面会ス。同人ノ世話ニテロンドン案内ト帽子ヲ求ム。

倫敦ニ来リテ未ダ日本人ニ面会セズ。何トナク寂寥ヲ感ズ。

June 5th, Sunday

午前、バツキングハムブリッツデフレスピテリアン教会ニ往テ礼拝ス。牧師ハ有名ナルカムベルモルガン氏ナリ。アスシヤルノ厚意ニヨリ、頗ル好地位ヲ与ヘラレタリ。モルガン氏ハ年齢六十以上ト見受ケタリ。頭髮ハ既

「二」斑白以上ナリ。長身ニシテ瘦ギスノ人、音声ハ朗々ト「シ」テ発音最モ精確明瞭ナリ。ゼスチュルハ多ク用ユル方ナリ。説教題ハ行伝廿ノ廿八、神ノ教会ト云フコトニテ、其意義ヲ説明シ、神ノ国トノ区別ヲ明ニシ、キリスト信者ハ只聖靈ノバプテスマヲ受ケ、神ノ権能ノ下ニ生活スルモノタルコトヲ弁明シタリ。ソノ思想ニ於テハ別斬新ナルモノナカリキ。但ソノ弁明ノ明瞭ニシテ老練ナルニハ敬服セザルヲ得ザリキ。聴衆ハ約千人ト見受ケタリ。

礼拝後、聖晚餐式アリ。極メテ簡単ナリ。只他教會員ノ姓名ト所属教会トヲ札ニ記サシメテ、之ヲ讀ミ上ケタル

ハ至極妙案ト思フ。之ニ由リテ西京ノデビス氏夫婦ノアルコトヲ知レリ。然トモソノ貌ヲ見ザリキ。会衆中ニ一人ノ日本人ト思ハル^[A]ノ人アリタレトモ、之ト語ヲ交ユルノ機会ヲ得ザリキ。

教会ヲ辞シテ、ロールドキナルドノ宅ニ赴ク。午餐ニ招カレタレバナリ。キナルド夫人及ビ令息二人及ビ氏ノ妹モ共ニ食卓ニアリ。令息ノ一人ハ四年前日本ニ漫遊シタリトノ話アリ。食後雑話ノ後辞シテ帰ル。貴族院傍聴券ヲ申受タリ。

午後七時、シテールテンブルニ往キ、カムベル氏ノ説教ヲ聴ク。聴衆ハ堂ニ満チタリ。但説教ニハ特別ノ事ナシ。題ハ、神ガイスラエル人ニ語ラントセシカドモ、彼等ハエジプトノ奴隸ト成果テ、ソノ声ヲ聴クコト能ザリキトノ事実ヨリ、今日ノ物質的傾向ニ及ビテ、靈ノ為ニ生活スベキ事ヲ勸メタリ。

コワヤノ唱歌ハ実ニ美事ナリキ。男女各三十名許アリ。女ハ大学生ノ如キ帽ヲ戴キ、且ガウンノ如キモノヲ着セリ。彼等ハ説教者ノ真上ノガラリーニ在リテ、聴衆ニ面セリ。

又礼拝式、数名ノ役員ハ壇上ニ座セリ。会衆ハ千人位ト

見ヘタリ。中等社会ノ人々ト見受ケタリ。

June 6th, Monday

午前、シオルジウキルリアムスハウスニ往キ、内及ビ熊野氏ヨリノ書状ヲ落手ス。内ニテモ学院モ無事ノ赴ニテ感謝ス。但文部省ニ於テハ、又々高等学校規程ニ付テ狭隘ナル規則ヲ設ケテ、我等ノ学校ヲ疎外セント企図ス。実ニ困リタルモノナリ。熊野氏ノ報ニヨレバ、神戸ノ方ハ十年計画ニテ千円募集云々。何タル寢言ナルヤ、アキレハテタル事共ナリ。

ハワルドウキルリアムス氏ニ面会ス。故ウキルリアムス氏ノ写真ヲ贈ラル。

トクトルワイコツフ氏ノ書状ヲ携ヘテ態々ジョンジャクソン氏ヲ訪問シタルニ、不在ナリキ。

ロンドン青年会本部フウバル氏ヲ訪問ス。彼モ不在ナリキ。

午後ハ日本ヘノ返書ヲ認メテ後休息ス。

夕刻、クレメント氏ニ再会シ、夕食ヲ共ニス。同氏ノ話ニヨレバ、原田助氏ハエデンボロー大学ヨリエル、エル、デーノ学位ヲ受ケ「ン」トス「ト」ノ事ナリ。氏ノ得意思ヒヤラル。

June 7th, Tuesday

昨夜来、雷鳴降雨アリ。本日ハ雨天ニモ拘ラズ、クレメント氏ト共ニ日英博覧会ヲ見シ為ニ往キ、開場迄ニ尚半時間アルガ故ニ、先ヅ日本人キリスト教青年会ニ往キ、幹事村上氏ヲ問フ。同氏ハ親切ニ我等ヲ迎ヘタリ。鈴木春氏モ附近ニアリトテ使者ヲ送ル。

クレメント氏ハ先ツ独リ見物ニ出掛ケ、余等ハ三人ニテ向側ノ生稻分店ト云フ日本料理店ニ往キ日本食ヲ喫ス。吸物ニ刺身ニ牛肉ト玉葱ノ甘煮ナレトモ風味ハ最ヨリ佳ナラズ。只日本食ト云フ迄ノ事ナリ。モスカウノ日本料理ニ及バザルコトハ遠シ。

食後、村上氏ノ案内ニテ会場ヲ一見ス。名ハ日英博覧会ナレトモ、実ハロンドンニ開カレタル日本ノ小博覧会ニテ、英国ノ分ハ申訳ノ為ノミト見受ラル。但博覧会ハ中々好評ニテ、見物人モ可之レアル様子ナリ。乍然何ヲ申テモ相手が錢儲ケ主義ノ私立ノ会社故、万事ソノ調子ナリ。日本ノ出品、殊ニ陸海軍省ノ出品ハ目立テ宜シ。美術品モ可ナリ。ナレトモ、之ヲ見ル人ハ寧ロ少数ナラシ。

村上氏ト共ニ台湾ノ喫茶店ニ立寄りテ、茶菓ヲ命ズ。給

仕女ハ日本服装ノ英国人ナリ。其服装、髪風等実ニ奇妙ナリ。然カモ英国人中ニハ彼等ヲ日本人ト思ヒ、日本人ニモ中々色白ノ人アリ抔ト評ス向モアル由ナリ。

見物ヲ終リ、村上氏ニ分レ、鈴木氏ノ案内ニテ自動車ニ乗リ、ハイドパーク、リゼントパーク、ハンブステド等ヲ乗転シテ、ボテル^{ボタル}ニ帰ル。甚タ愉快ナリキ。

其前ニ鈴木氏ト共ニ陸奥伯ヲ訪問ス。伯ハ胃潰瘍ノ赴ニテ、夫人面会セラル。中嶋男爵ノ伝言ヲ遺シテ辞シ去ル。余重患ノ様子ナリ。氣ノ毒ナル事ナリ。一日モ早ク日本ニ帰リタシト夫人ハ云ハレタリ。住居ハカンブデン^{カンブデン}ニテ、頗ル好地位ナリ。

夜ニ入りテ、フヒシヤル氏来訪、暫時談話シテ去ル。同氏ハ明日フックスフォールドニ往キ、ソレヨリリバルプールノ青年会大会ニ出席シ、ソレヨリエデンボローニ往ク赴キナリ。

June 8th, Wednesday

Went with Mr. Clement to the Baptist Church House and the Thomas Cook's office near by, to make inquiries about the train to Edinburgh and the steamers to New York.

In the afternoon went to the Westminster Abbey and stayed through the 3 o'clock service. I did not like the service which seemed very formal and perfectional.

They went to the House of the Lords. Lord Rosebery was speaking but is soon adjourned then I went to the House of Commons but only a few members were present and nothing important going on, so I did not stay more than ten minutes or so. It is getting very warm. I have nothing to do here. I wish to go to Edinburgh but being invited by Dr. Simpson to be his guest during the Conference it is rather awkward to go before the time. I am tired of sightseeing. I wish to be doing something.

ミスター・クレメントと共にバザテイス・チャーチ・ハウスに行つた。また、エデインバラ行きの列車やニューヨークへの汽船について質問するために、近くにあるトース・クツクの代理店にも行つた。

午後にはウエスター寺院に行き、3時の礼拝の終わりでそこにいた。礼拝は非常に堅苦しく通り一遍な様子で、好きではなかつた。

その後、貴族院に行つた。ローズベリー卿が演説していた

が、すぐに終わってしまった。次に庶民院に行ったが、数名の議員しか居らず、特に何も起きていなかったので、10分程度しか滞在しなかった。かなり暖かくなってきた。ここでは何もすることがない。エディンバラに行きたいが、ドクター・シンソソンに大会のゲストとして招かれている立場なので、早く現地に行くのも気が引ける。観光にも飽きてしまった。何か有意義なことがしたい。

June 9th, Thursday

Spent two hours _10-12 in the British Museum. It is a wonderful collection of Egyptian Greek, Roman and other antiquities. I was much interested in looking at the autographs of famous literary men.

In the afternoon went to the headquarters of Y. W. C. A. because Miss Kinard [sic] invited me to come but she was not there. Nor was Miss Kawai who, as I was told, was to be one of the speakers. So I left after staying a few minutes. It is very warm in London. I wish I were in Edinburgh.

A note came from Dr. Simpson saying "Welcome Monday afternoon." I finished reading the life of Sir George Williams which was given to me by Sec. Howe. He was a true Christian

man. He loved the souls of young men and did his best to save them. That was the secret of his success.

10時から12時までの2時間、大英博物館で過ごした。エジプト、ギリシヤ、ローマの古美術品等の素晴らしいコレクションが収蔵されていた。有名な文学者たちの自筆の原稿も見られて、非常に興味深かった。

午後はミス・キネアードから招待されたので YWCA の本部に行ったのだが、彼女はそこに居なかった。演説者の1人となる予定だと聞いていたミス・カワイも居なかった。ロンドンには非常に暖かい。今、エディンバラにいられたら良かったのだが。

ドクター・シンソソンから、「月曜日の午後に来てください」という短い手紙が届いた。主事のハツ氏からもらった『The Life of Sir George Williams』を読み終えた。彼は真のキリスト教徒だった。青年たちの魂を愛し、救うために最善を尽くした。それが彼の成功の秘訣だった。

June 10th, Friday

Papers say that yesterday was the hottest day in the year, 79 d. in the shade. It was not only hot but very close.

Wrote to Mr. Ohoi in America. Went with Mr. Clement to

the King's Cross Station to buy ticket to Edinburgh. Then I

went to the Yokohama Specie Bank in Bishop's gate street. It rained and the road was muddy.

In the afternoon it was again very sultry and close. Bought Kingsley's Hypaia.

複数の新聞によると、昨日は今年一番の暑さで、日陰でも華氏79度あったらしい。ただ暑いだけではなく、非常に蒸してもいた。アメリカにいるミスター・オオホリに手紙を書いた。エディンバラへのチケットを買うため、ミスター・クレメントと共にキングス・クロス駅に行った。その後、ピシヨツマスデート通りにある横浜正金銀行に行った。雨が降り、道がぬかるんでいた。

午後はまた非常にむし暑く息苦しかった。キングスレーの『ハイペシア』を購入した。

June 11th, Saturday

Having nothing to do specially, went again to the Exhibition. But having been through it once I was not so much interested and returned "home" about 2 p. m.

In the evening Mr. S. Suzuki called and I had a pleasant talk with him for two hours or so. He told me that he met Tamura

at the Japanese Y. M. C. A. He told me also that Honda had come to London.

This is the day for the commencement of the Theological Department in Meiji Gakuin.

特にすることもなかったので、再び日英博覧会に行った。

しかし、既に一度一通り見ているためそこまで興味を持たず、午後2時頃に滞在先に戻った。

夕方にミスター・S・スズギが訪ねてきて、2時間ほど歓談した。日本のYMCAで田村に会ったと教えてくれた。また、本多がロンドンに來ていることも知らせてくれた。

本日は、明治学院神学部卒業式の日である。

June 12th, Sunday

In the morning went to Hampstead to Dr. Horton's Church.

He expounded the latter half of the 2nd Corinthians. I was quite disappointed in his preaching. There was nothing original. But he told a rather good story about the boyhood of Robert Moffat.

In the afternoon went to the Japanese Y. M. C. A. at Shepherd's Bush and spoke to about twenty Japanese young men. Honda was there and he led the meeting. Tamura & Chiba were there

too. I took my nori and kakimochi. We had a simple Japanese supper. They all enjoyed the nori very much.

We took a walk in the Hyde Park.

午前中はハムステッドにあるドクター・ホートンの教会に行った。彼はコリントの信徒への手紙二の後半について詳しく解説した。その説教内容にかなり落胆した。獨創性が全くなかった。ただ、ロバート・モフアットの少年時代についての話は結構良かった。

午後はシェパーズ・ツッシュにある日本 YMCA の事務所へ行って、20 人ぐらいの日本人の青年たちに向けて語った。本多がいいて、会議を仕切っていた。田村と千葉もいた。私は海苔とかき餅を持参した。簡単な日本料理で夕食会をした。皆喜んで海苔を食べていた。

June 13th, Monday

Left the Bedford Hotel at Southampton Row at 9 a. m. and took the train from the King's Cross Station at 10. Mr. Clement and I were again in the same compartment. Honda and other Japanese friends took another train that started about ten minutes earlier.

Arrived at Edinburgh 6.20. had to wait sometime for my luggage and a carriage. The porter went to get one.

Dr. Simpson welcomed me to his own house at 52 Queen St. The Fishers and the Eddis of India are [among the] few guests. Mrs. Simpson is away.

After supper Dr. Simpson took Mrs. Eddy, Mrs. Fisher and myself to the Reception at the Museum given by the Lord Provost and the magistrate of Edinburgh. There was a great crowd of people. 4,000 invitations were issued, I understand.

On my return home I found Simizu and Tsuru waiting for me. The latter wishes to stay here and study theology.

午前 9 時にサウサンズトーン・ロウにあるベッドフォード・ホテルを出て、10 時キンクス・クロス駅発の列車に乗った。再びミスター・クレメントと同じ車室だった。本多や他の日本人の方々は、10 分ほど早く出発した別の列車を利用していった。

6 時 20 分にエディンバラに到着。私の荷物が手元に来るまで、そして馬車が見つかるまで、しばらく待たなければならなかった。馬車はポーター・カーがつかまえて行ってくれた。ドクター・シンズンがクエーン・ストリート 52 番地にある

自宅に招いてくれた。他にもフイツシャー家やインドのエデュー一家が招待されていた。ミセス・シンゾンは留守だった。

夕食後、ドクター・シンゾンがミセス・エデイ、ミセス・フイツシャー、そして私を、博物館で開催された、プロゾアスト卿とエディンバラの治安判事が主催するレセプションに連れて行ってくれた。大勢の人が集まっていた。4000 通の招待状が発行されたようだ。

滞在先に戻ると、清水と都留が待っていた。後者はここに残り、神学を学びたいと思っているそうだ。

June 14th, Tuesday

I enjoyed a quiet night. After breakfast went to the office and paid my fee (10 S) and obtained the delegates' ticket, reports &c. &c. Met Mr. Oldham. I find I was put on the Business Committee which met on Saturday and Monday, but I did not know it until yesterday.

At 3 p. m. the Conference began with a business meeting. Lord Belfour [sic] presided. The Business Committee appointed and Standing orders and rules for debate were adopted, and officers were appointed.

At 5 p. m. all delegates were invited to the Honorary Graduation Cereimonial of the Univ. of Edinburgh.

Mr. Charterjee of India and Mr. R. E. Speer among others received the degree of D. D. and Harada and Mr. Mort received L. L. D. There was a large crowd to witness the Ceremony. Evidently the honor was conferred the signalize the Conference because the recipients are all delegates of the Conference and were chosen representing different nationalities. The Vice Chancellor and the members of the Faculties and those who received the honor all wore gowns of different color.

In the evening the opening meeting of the Conference was held. A Message from the King was read by the Chairman while the whole Conference listened standing and "God save the King" was sung. The Chairman gave an opening address which was very good. He was followed by the Archbishop of Canterbury and Dr. Speer. The Archbishop's address was very good. The meeting closed at 9.30.

静かな夜を楽しんだ。朝食後に事務所まで行き、参加費（10ドル）を支払い、代表者用のチケットや報告書等を手

に入れた。ミスター・オールダムに会った。昨日はじめて知ったのだが、私は土曜日と月曜日に集まる予定の運営委員会の一員に含まれていた。

大会は午後3時の運営会議から始まった。バルフォア卿が進行を務めた。運営委員会が設けられ、大会規則や議論のルールが採用され、各役職が選任された。

午後5時には、代表者一同がエディンバラ大学の名誉卒業式に招待された。

インドのミスター・チャッタルジーやミスター・R・E・スピア等が名誉神学博士号を、原田とミスター・モットが法学博士号を授与された。武典の様子を見守るために大勢の人が集まっていた。これらの名誉学位の授与は、授与された者が皆この大会の代表者であり、様々な国籍を象徴するように選ばれていたため、本大会に注目を集めるために行われたことは明白だ。総長や教職員たち、そして名誉学位を授与された者たちは皆、別の色のガウンを着ていた。

夜には大会の初回会議が行われた。議長は王からの挨拶を読み上げ、大会参加者一同は立ったままそれを聞き、その後「God save the King」を歌った。議長は素晴らしい開会の挨拶も披露した。その後カンタベリー大主教とトク

ター・スピアが続いた。大主教の挨拶は非常に良かった。会議は9時半に終了した。

June 15th, Wednesday

After devotional session for a quarter of an hour the Conference began with the consideration of Reports of Commission I "Carrying the Gospel to all the new-Christian world."

Mr. Mot as the Chairman of the commission made a very powerful speech. He was followed by a number of men who represented different counties. Mr. Chiba and Dr. Davis spoke for Japan. 12.35-1 p.m. Intercession meeting which was very impressive. 2.30-4.30 The consideration of Report of Commission I was continued. A lady made a very good 7 minute speech on the Extension of Christianity Empire sizing the social side of it. Mr. Speer too made a very good one emphasizing the individual side of it.

As a member of the Business Committee I was asked to sit on the platform.

In the evening the Hon. Seth Low presided. Prof. Paterson of the Edinburgh University on Christianity as the final and

universal region as Redemption and Dr. Coffin on the same

subject in its Ethical Ideal. The latter is by far a better speaker.

His speech was a very strong impeachment of modern civilization falling short of the Christian Ethical Ideal.

15 分間の祈りの会の後に大会が始まり、まずは第一委員会の報告書、「非キリスト教世界のすべてに福音を伝えること」について検討した。

委員会の議長であるミスター・モットが非常に力強い演説をした。その後、様々な国の代表者たちが続いた。ミスター・千葉とボクター・デヴィスも日本の代表として演説した。午後 12 時 35 分から午後 1 時は他者のために祈る執り成しの祈りが行われ、非常に印象的だった。2 時半から 4 時半は引き続き第一委員会の報告書についての検討が行われた。とある女性が、キリスト教帝国の拡大について、その社会的側面における影響の大きさを測る 7 分間の素晴らしい演説を行った。ミスター・スピアも、その様々な側面について強調した非常に良い演説を行った。

私は運営委員会の一員として壇上に座るよう頼まれた。夜にはセス・ロウ閣下が進行を務めた。エディンボロ大学のバターソン教授が贖罪としての究極かつ普遍的な宗教とい

う観点からキリスト教を語り、ボクター・コフインも同じ主題を倫理的な理想という観点から語った。後者の方が圧倒的に話し上手だった。彼の演説はキリスト教の倫理的な理想に遠く及ばない現代文明を強く非難するものだった。

June 16th, Thursday

After the devotional Exercises Dr. Campbell Gibson presented the Report on Commission II. On the Church in the Mission Field Dr. Arthur Brown made a very strong speech, insisting that the whole attitude of the Western Church toward the church in the mission field should now be changed. Mr. Pieters spoke but made no impression. Dr. Brown carried the Conference with him. Dr. Murray also spoke on the right side but did not amount to much. Honda spoke in Japanese and Fisher interpreted for him.

In the afternoon the discussion on the same subject was continued. Harada spoke on Belief and its statement. It was rather indefinite.

In the evening I did not go to the Conference. I took rest and wrote letters to home and Dr. Imbrie. 祈りの会の後、ボクター・キャンベル・ギブソンが第二委員

会の報告書を発表した。ボクター・ブーサー・ブライウンが宣教地の教会形成について力強い演説を行い、宣教地の教会に対する西方教会の全体的な姿勢を今すぐ変えるべきだと主張した。ミスター・ピーターズも演説したが、印象に残らなかった。ボクター・ブライウンは参加者たちの心を掴んでいた。ボクター・ブーサーの演説も方向性は良かったが、内容は平凡だった。本多は日本語で演説し、ワイッシャーはそれを通訳していた。

午後と同じ主題についての議論が続いた。原田は信仰や信条について演説した。やや曖昧な内容だった。

夜は大会に参加せず身体を休め、家族やボクター・インブリーに宛てて手紙を書いた。

June 17th, Friday

The subject of discussion for the day was "Education in relation to the Christianization of National life." Dr. Gore made a very good speech on the Report.

In the morning India and Africa was considered chiefly the former. In the afternoon China and Japan had their turn. There is a wide spread interest in China far more than Japan. I spoke emphasizing the need of strengthening the present schools and

college and also of having a Christian university worthy of the name.

There is a consensus of opinion regarding the supreme importance of the educational work and of strengthening and coordinating the present institutions. This certainly is an indication of deeper insight into the real work of evangelization, quite different from the time when "the Evangelization of the world in this generation" was the watch word.

In the evening the mission work of German, Dutch and French churches received attention. I went in but I could not understand the German speaker, so I came home and prepared for my address on Saturday night.

本日の議題は「国民生活のキリスト教化に関する教育」だった。ボクター・ブーサーが同主題の報告書についてとても良い演説をした。

午前中はインドとアフリカについてで、取り分けインドに関心して中心的に検討された。午後は中国と日本の番だった。中国に対しては、日本に対してよりずっと広範な関心が寄せられている。私は現存する学校や大学の強化、および名実

伴ったキリスト教大学を持つことの必要性を強調して演説した。

教育事業および現存する機関の強化や調整が非常に重要であることに關しては、皆意見が一致していた。これは確實に眞の福音伝道へのより深い洞察の表れであり、「今世代のうちに全世界に福音を伝える」が標語になっていた時とはかなり変わってきている。

夜はドイツ、オランダ、そしてフランスの教会による伝道の取り組みに關心が集まった。私も会場に入ったが、ドイツ人の演説者の言葉が聞き取れなかったので、滞在先に戻って土曜日の夜に予定されている自分の演説の準備をした。

June 18th, Saturday

“The missionary message in relation to non-Christian religions” was the subject for the day’s discussion.

The Animistic religions, the Religions of China, & Japan, and Islam were discussed in turn. The discussion was quite interesting. In the afternoon Hinduism was discussed. Rather wide difference of opinion was discovered as to the attitude to be taken toward it.

Mr. Speer summed up the discussion. I intended to speak a

word of Testimony but there was no time. Yesterday, the Chairman said, there were 42 men who wished to speak, yet had no chance given them.

In the evening I spoke in the “Tolbooth Church” the church of Scotland Assembly Hall. The Hall was quite full, about 1000 people were present. I had to read my notes, that was a great drawback, but I had to. Mr. Miller of Sendai spoke, but his voice was so weak that he was not heard by half the audience I feared. Good many left while he spoke. Bishop Harris and Dr. Jones of Korea spoke. Their voices filled the Hall.

本日の議題は、「キリスト教以外の諸宗教との関わりにおける宣教の内容」だった。

アニミズム的な宗教、中国や日本の宗教、そしてイスラム教について、順番に議論された。かなり興味深い内容だった。午後はヒンドゥー教について議論が行われた。この宗教にどのように向き合うべきかというそれぞれの意見については、大きな相違があることが分かった。

ミスター・スピアが議論をまとめた。私は一言、神を証言しようと考えていたが、時間がなかった。昨日はスピーチをしたいという人が42名いたが、機会を作ることができなかった。

た、と議長が言っていた。

夜には、スコットランド教会の集会場である「トールブース・チャーチ」で演説した。会場は満員で、聴衆は 1000 人程度いた。私は原稿を読まなければならなかった。決して好ましいことではなかったが、やむを得なかった。仙台のミスター・ミラーも演説したが、声が弱々し過ぎて聴衆の半分には聞こえていないのではないかと心配してしまった。彼が話している間に結構な人数が会場を離れた。韓国（のハ）ス監督とドクター・ジョーンズも演説した。彼らの声は会場に響き渡っていた。

June 19th, Sunday

In the morning I was invited to speak in the Abbey Parish Church, the second largest Congregation in the city, as I was told by the pastor Rev. James Sabiston. I spoke for 30 minutes I suppose. I felt a little more at home than last night. I was not so harried. It was a large congregation, nearly one thousand. The church was full.

In the evening went to the Synod's Hall. The meeting was men only. It was crowded. Mr. Morro spoke with great force. He has a certain magnetism. He said when he returned from his first

trip round the world he thought so many more thousand missionaries were needed to evangelize the world, the second time he came back he thought so many thousand more native workers were needed, but the third time he came back his ideas entirely changed. He saw that it was not a question of Mathematics but of Dynamics.

Mr. Mc somebody the editor of the Churchman, New York, spoke but he had nothing special to say except that Man's relations were family relation i. e. Sons of God and brothers &c. I then went to the Assembly Hall and heard the last half of Harada's address on the contribution of the non Christian races to the body of Christ. He made the loyalty the contribution of Japan to the fulfillment of Christian truth.

午前中はアビー教区教会で演説するよう招待された。牧師のジェームス・サビストン師曰く、この教会は市で 2 番目に大きな会衆を持っているらしい。恐らく 30 分間くらい演説したと思う。昨晚より少し慣れた気分だった。あまり慌てずに済んだ。1000 人近くの、大きな会衆だった。教会は満員だった。

夕方にはシノブス・ホールに行った。会議の参加者は男性の

みだった。ホールは混んでいった。ミスター・モットが力強い演説をした。彼には特有の魅力がある。最初の世界一周の旅から戻った際、全世界に伝道するにはさらに何千人もの宣教師が必要であると考え、2回目の旅から戻った際にはその上何千人もの現地人の伝道者が必要だと思ったが、3回目に戻った際には考えが完全に変わったと言っていた。これは数字の問題ではなく人々の思考や行動の問題だと理解したのだ。

ニューヨークの『Churchman』の編集者であるミスター・マク某 [Mackichan] が演説したが、人間同士の関係とは家族の繋がりにある、すなわち皆神の子であり兄弟である等以外は、特筆するようなことは述べていなかった。その後集会所に行き、原田の、非キリスト教人種によるキリストの体なる教会への貢献についての演説の後半を聞いた。日本人の人々の忠誠心は、キリスト教の真理の成就に貢献すると話していた。

June 20th, Monday

In the morning went with Honda to buy a ticket for a passage cross the Atlantic. Then went to the Assembly Hall. The discussion was on the Mission's government. It was rather

interesting. A photograph was taken. At noon I was invited to a luncheon at the Balmoral Hotel by Foreign Mission of the Presbyterian Church. There were more than hundred persons at the table.

In the afternoon did not go to the Conference but took a rest and prepared for the evening.

In the evening spoke at the Assembly Hall. Bishop Roots of Hankaw first spoke. I followed him. I read from my notes. I wish so much I could speak. Mr. Aziriah [sic] spoke last. He spoke frankly about the unchristian attitude of some Christian missionaries in India toward the Indians. He quoted a sentence from some body to the effect that the English through their missionaries offered golden thrones in the world to come but gave them no chair in this world. It produced a sensation but he did it in a fine spirit, I thought.

午前中は本多と共に大西洋を渡るための乗船券を購入しに出かけた。その後、集会場に行った。宣教と政治との関係について話し合われ、なかなか興味深かった。写真撮影も行われた。午後には長老派教会の海外宣教団体によるパルモラル・ホテルでの星食会に招待された。100人以上が

参加していた。

午後は会議には参加せず、身体を休めて夜に備えた。

夜には集会所で演説をした。先に漢口のルーツ監督が話し、私はその後に続いて原稿を読み上げた。自由に演説できるようにしたいと強く思う。

最後にミスター・フザリヤが演説した。彼はインドの一部のキリスト教宣教師たちによるインド人に対する非キリスト教徒的な態度についてありのままに話した。誰かの言葉を引用し、英国人は宣教師たちを通して人々に来るべき世での金の玉座を約束しても、この世での立場は与えなかったという趣旨を述べていた。物議をかもし内容だったが、前向きに発言していったと思う。

June 21st, Tuesday

In the morning went to the Conference. The discussion was on the Cooperation and the Promotion of Unity.

In the afternoon I went to Glasgow to speak in the St. George's Church. The church was quite full about 1000 in number. Other speakers were Dr. Wilson and Guadie. In the evening went to the Conference again. In the evening Mr. Eddy and Dr. Denny spoke, D. [判読不能] prayed.

午前中は会議に行った。議題は「協力と一致の促進」についてだった。

午後はセント・ジョージ教会で演説するためにグラスゴーに行った。聴衆は1000人くらいいて、満員だった。ボクター・ウイルソンとガウデアも演説した。

夜は再び会議に行った。ミスター・エディとボクター・デニーが演説し、ボクター・Dは「判読不能」祈禱もした。

June 22nd, Wednesday

The discussion was on the preparation of missionaries. The subject was warmly but with good spirit discussed.

Was invited by the famous publisher, the Clark family to dinner. Met Dr. Hasting, Prof. Mout, and some other noted men. Honda and Harada also were invited.

In the evening Dr. Horton spoke on "the Sufficiency of God," did not hear the first part of it and was not very much impressed by it.

議題は宣教師の養成についてで、熱く前向きな話し合いが行われた。

有名な出版社であるクラーク一家から夕食に招待された。ボクター・ヘイスティングやモット教授などの著名人に会っ

た。本多と原田も招待されていた。

夜にはボクター・ホートンが「神の十全性」について演説した。最初の方は聞いていないが、あまり感銘を受けなかった。

June 23rd, Thursday

The discussion was about the "Home base of Mission." It was a fitting subject for the closing day. In the evening Sir, A. Fraser made a very good speech. Mort was not so good. He was too tired I am afraid. But the interests were well sustained to the very last moment. The devotional feeling was very remarkable. I felt greatly humbled and strengthened. I hope I may carry and spread the wonderful spirit of the wonderful Conference.

「宣教の基盤」について議論した。最終日にふさわしい議題だった。夜に、A・フレイザー卿がとても良いスピーチを行った。モットのスピーチはあまり良くなかった。恐らく疲れきっていたのだろう。しかし、最後の瞬間まで皆しつかり関心を持っていた。非常に敬虔な雰囲気だった。とても謙虚な気持ちになり、精神的に励まされた。この素晴らしい大会の素晴らしい精神を自身で持ちつつ、広めていきたいと思う。

June 24th, Friday

All the guests entertained by Sir Alex. Simpson during the Conference, i. e. Dr. George Alexander, the Eddies, the Fishers, and also Mr. & Mrs. Alexander departed after prayer and singing "God be with you till we meet again."

I called on Mr. Severance at North British Hotel. I asked to hold his offer open to the end of this year, and at last he consented to give \$5,000 for a New [判読不能] Hall, but he will give \$4,000 on two conditions, namely that I should raise the rest of the sum required "within a reasonable time" and also that "all the Japanese teachers be Christian." The latter condition would be rather difficult to meet at once for obvious reasons, we can not turn out the men who served the school so faithfully during the past years. The better way would be to convert them if possible.

On my way I called on Tsuru but he was out. I wrote him a note giving him a letter of introduction to Prof. Martin. I want him to prepare for teaching the O. T. in our school.

Left Edinburgh by 4 o'clock train from the Waverly Station, and came Waverly [sic] Station in Glasgow. It was evening. Honda came after 11 o'clock.

祈禱をして、讃美歌 God be with you till we meet again を歌った後、ブクター・ジョージ・アレクサンダー、エデイナー家、フレイジャー家、そしてアレクサンダー夫妻など、大会中にアレックス・シンブソン卿によるもてなしを受けていた賓客は全員旅立った。

ミスター・セベレンスを訪ねてノース・ブリティッシュ・ホテルに行った。彼の申し出を年末まで延長してもらえようお願いしたところ、最終的に5000ポンドを新しい[判読不能]ホールの建設のために献金することを承諾してくれたが、そのうち4000ポンドは、私が残りの必要額を「妥当な期間内に」集めること、そして「すべての日本人教員がキリスト教徒であること」という2つの条件を満たさないと献金しないとのことだった。後者の条件については、ここ何年も学院に誠実に尽くしてくれた人たちを追い出すわけにはいかないという明確な理由から、すぐに満たすのはかなり難しい。可能であれば改宗してもらおうという方が得策だろう。途中で都留を訪れたが、外出していたので、マーティン教授への紹介状とメモを残しておいた。彼には私たちの学院で旧約聖書を教える準備をして欲しいと考えている。ウェイヴァリー駅4時発の列車でエデインバラを離れ、グラ

スゴウの「セントラル?」駅まで移動した。到着したのは夕方だった。11時過ぎに本多が来た。

June 25th, Saturday

After breakfast took a walk with Honda. He bought a grip and I bought half a dozen collars and handkerchiefs.

Left the Hotel at 9.30 and took a rain at 10 o'clock and came the Greenock about 11. We met Mr. Chiba at the station. A launch brought us to the Steamer California which is a little over 1,000 tonnage but a nice comfortable boat. Dr. and Mrs. Arthur Brown and several others who attended the Conference are on board the Steamer.

Wrote some letters to be mailed in Ireland tonight. Thus far the sea is very calm and the day fine.

朝食後、本多と共に散歩した。彼は旅行かばんを、私は[交換用の]標とハンカチを半ダース購入した。

9時半にホテルを出て、10時の列車に乗り、11時頃にグリーノックに到着した。駅ではミスター千葉に会った。私たちは連絡用の小船で蒸気船カリフォルニアまで移動した。総トン数1000トンを少し上回る程度の大きさだが、快適で良い船だ。ブクター・アーサー・ブライウンとそのご夫人など、

大会に参加していた人たちが数名がこの船に乗っている。

今夜アイルランドから発送される予定の手紙を何通か書いた。これまでどころ海はとても静かで天気も良い。

June 26th, Sunday

Slept well last night.

The sea was very quiet all day but rather cold. But the sea air is delightful after the smoky air in London and Edinburgh.

There was a short divine service in the writing room. Dr. Hume, a missionary in India preached. Read an article by an English bishop on the unrest in India, which is very good.

昨晚はよく眠れた。

海は一日中とても静かだったが、やや寒かった。しかし、ロンドンやエディンバラでの煙ったような空気後の海の空気は心地良い。

書斎で短い礼拝が行われた。インドで宣教しているブクター・ヒュームが説教した。インドにおける混乱についてのイギリス人主教による記事を読んだ。とても良かった。

June 27th, Monday

It was quiet in the morning but it soon began to be rough and felt uncomfortable all day.

午前中は静かだったがすぐに天気が荒れ、その後はずっと乗り心地が悪かった。

June 28th, Tuesday

The weather improved and the sea quieter and enjoyed reading and eating.

天気が改善して海も静かになり、読書と食事を楽しんだ。

June 29th, Wednesday

The weather unpleasant but have yet missed a meal. いやな天気だったが食事を抜かずに済んでいる。

June 30th, Thursday

Foggy and chilly all day. They kept whistling till late in the night.

一日中霧が出て肌寒かった。夜遅くまでずっと汽笛が鳴っていた。

July 1st, Friday

The weather much better. Took a long walk before breakfast. Saw a number of whales spouting.

天気がかなり改善した。朝食前にゆつくりと散歩した。何頭かの鯨が潮を吹いているのを見た。

July 2nd, Saturday

A little foggy but quiet.

やや霧が出ていたが静かだった。

July 3rd, Sunday

I was asked to speak at the divine service, and I did so. Dr. Arthur Brown presided, Honda read the scripture and I spoke about the result of Christian mission during the past fifty years in Japan. Dr. B. asked for a copy of my address, so did some others.

The steamer arrived at the Pier about 3 p. m. I saw Dr. Amerman waiting at the Pier. Mr. Ohori did not appear. So I concluded that my letter did not reach him in time or he was prevented by some business. But while I was waiting for my baggage or rather while I was having my baggage examined by the Customs officers he came. Mrs. Ohori too came and helped me and took me to their home. The Customs officers were not very strict. I had nothing to pay. But before we came to the Pier the Emigrant officers asked to see our passport and asked how much money I had with me. There is a new thing. I hardly expected that sort of thing though I had no trouble about it. Honda went to stay with Mr. Mizuno, the Consul General,

and Chiba went to Philadelphia. On the whole it was a pleasant voyage. Thankful we arrived America in safety.

礼拝でスピーチをするように頼まれたので、応じた。ドクター・アーサー・グラウンが司式し、本多が聖書を読み、私は日本における過去 50 年間の福音宣教活動の成果について話した。ドクター・B やその他何名かが、私のスピーチの写しが欲しいと言ってくれた。

蒸気船は午後 3 時頃に埠頭に到着した。ドクター・アメルマンが埠頭で待っているのが見えた。ミスター・オオホリは現れなかった。そのため、手紙が間に合わなかったか、何か他の用事で来られなくなったのだろうと推断した。しかし、自分の荷物を待っている間、というより税関職員が荷物を検査している間に彼がやってきた。ミセス・オオホリも一緒に来て世話を焼いてくれ、自宅に招待してくれた。税関の職員達はあまり厳しくなく、何も支払わなくて済んだ。しかし、埠頭に着く前に出入国管理職員にパスポートを見せるよう言われ、所持金額も確認された。こんなことは初めてで、ほほ想定外の出来事だったが、特に問題なく対応できた。ホンドは総領事のミスター・ミズノのところに滞在しに行き、千葉はワイアデルワイアへと向かった。

概して快適な船旅だった。無事アメリカに到着できて良かった。

July 4th, Monday

In the morning called on Mr. Mizuno and Honda who is staying with him. Mr. & Mrs. Ohori went with me. Mr. M. and his wife received us very cordially. They live on 11th story of a fine apartment house facing the Central Park. The house commands a very fine view [towards] the east and northwest. Presented the Ohoris with nori and tea. In the evening Li Enki? and Minemura called and had a pleasant talk with them. Li invited us to a Japanese dinner tomorrow evening. This is my 56th birthday. May I live a better and much useful life in future!

午前中、ミスター・ミズノと、彼の家に滞在しているミスター・ホンダを訪ねる。オオホリ夫妻も同行した。M夫妻は我々をあたかく迎えてくれた。彼らはセントラルパークに面した高級アパートの11階に住んでいる。東方面、および北西方面の眺めが素晴らしい。オオホリ夫妻らに海苔とお茶を供する。夜、リ・エンキとミネムラが訪ねてきて、楽しく語り合う。リが明日の夜、日本食の夕食に招待してくれ

た。今日は私の56歳の誕生日。これからもう良い、そして役に立つ人生を送れますように!

July 5th, Tuesday

Wrote to Miss Punington, Miss Telford, and Mrs. Wadsworth. Wrote and sent a copy of my address to Dr. A. J. Brown.

Went with Mr. O to John Wanamaker's Department store and bought some under wear.

Called at the Presbyterian Boards room and had a good talk with Dr. Fulton about the need of a united Christian university in Japan. He expressed himself strongly in favor of the idea and suggested an informal conference between the representatives of the Pres. & Reformed Boards, the methodist and Baptist Boards and Bishop Honda, Mr. Chiba and myself. He is to let me know what can be done in the matter.

Then we called on Dr. Amerman at his office. He invited us to a lunch in a neighboring restaurant. I met Dr. Chamberlin too who has succeeded Dr. Cobb in the secretary chief. He strikes me as a very fine man. I had a good talk with him too. He has a very intelligent idea on the subject.

On return home I found a telegram from Honda saying came

some post office [in] Ocean Grove. Answered by telegram saying will come tomorrow 10:50. In the evening went to Wakamatsu with Mr. and Mrs. Ohori. Li was our host. There were Miyata and Minemura also. We had a very good Japanese dinner. We had maguro no sashimi, suimono, kashwa and gobo no umami, ebi no yakimono, sunomono, and unagimeshi. Altogether it was a fine Japanese dinner.

ミス・パニングトン、ミス・テルフオード、ミセス・ワズブーヌに手紙を書く。A・J・ブラウソ博士に私の住所を知らせる手紙を書く。

ミスター・Oとともにジョン・ワナマイカーズ百貨店に行き、下着を何枚か買う。

長老派教会の理事会会室を訪ね、日本で総合的なキリスト教大学を設立する必要性について、フルトン博士とじっくり語り合った。彼はこのアイデアに強く賛同し、長老派、改革派、メソジスト派、バプテスマ派の代表者たちと、本多監督、ミスター千葉、そして私とで非公式の会議を行うことを提案した。彼自身がそのために何かができるか、知らせてくれるとのこと。

その後アメルソン博士のオフィスを訪ねた。彼は我々を近く

のレストランでの昼食に招待してくれた。そこで事務局長のワグ博士の後を引き継いだチェンバリン博士に会う。非常に好人物との印象。彼とも有意義な話をした。とても知的なアイデアを持った人のようだ。

宿に戻ると、本多からオージャン・グローアのある郵便局に来たとの電報がきていた。明日 10 時 50 分に行く旨返信する。夜、リof招待でオオホリ夫妻とともにワカマツに行く。

ミヤタとミネムラも同席した。非常に美味しい日本食だった。ワグロの刺身、吸い物、カシワとゴボウの旨煮、エビの焼き物、酢の物、鰻飯。全体的にとっても結構な日本料理の夕食だった。

July 6th, Wednesday

Went to Ocean Grove taking 9 a. m. train from Jersey City. Honda met me at the station. We waited for Dr. Goucher at his hotel and when he came I had a very good talk with him on the subject of higher Christian education in Japan. He told us that he was appointed the chairman on the Japan, China Korea section of the committee on Educational work. He is deeply interested in the movement, in fact he is enthusiastic over it. He has marked out his plan for the union college. He expressed

himself in favor of an informal conference sometime between July 22 and Aug. 18. He also suggested that Dr. A. J. Brown should call the conference. He invited us to luncheon and insisted also to paying my railway fare. Returned to New York in time for supper. There were crowd of people at Asbury Park. It is a pretty seaside place.

ジヤージー・シナイから9時の電車に乗ってオージヤン・グローズへ行く。ホンダが駅まで迎えに来てくれた。ガウチャ博士が滞在しているホテルで彼を待つ。彼とは、日本におけるより高等キリスト教教育というテーマについて、有意味な意見交換をすることができた。彼は教育を管轄する委員会の、日本・中国・韓国地域の責任者に指名されたのだと思う。彼はこの活動に大いに興味があるどころか、非常な情熱を抱いていた。彼は総合的な大学設立のために自身が描いている計画を示してくれた。彼は、7月22日から8月18日の間に非公式な会合を開くべきだと述べた。そして、A・J・ブラウン博士が会合を招集すべきだとも言った。彼は我々を昼食に招待してくれたばかりか、私の電車賃を支払うと言ってきた。夕食に間に合う時間にニューヨークに戻る。アズベリー・パークに人が大勢いた。海辺

の美しい町だ。

July 7th, Thursday

Wrote several letters, one to home. Wrote to Dr. Brown as Dr. Goucher suggested. Then a letter came from Dr. Fulton saying that he has already arranged for a conference next Monday afternoon at 2.30 at the Pres. Building. So I had to write to Dr. Brown again after it. Wrote to Dr. Goucher too.

I was asked to speak a few words at the meeting of the board of managers of the American Bible Society. And I did so. There were present ten members besides the president, secretary and the treasurer. They were all old men between 70 and 80. Each member seemed to be as venerable as the society itself.

Stopped at the Pres. Building on my way back but Dr. Fulton was not there. Met for a moment Dr. Houley.

In the evening Bishop Honda and Mr. and Mrs. Sato, the Methodist preacher and his wife called and we had a rather enjoyable time.

It was very close and hot this afternoon but now as I am writing 11 p.m. it began to rain. It is a good rain.

手紙を何通か書く。自宅にも一通書く。ガウチャ博士の提

案に従い、フ라운博士にも書いた。するとフルトン博士から手紙が来て、すでに土曜の午後 2 時 30 分に長老派教会ビルでの会合をアレンジしたと言う。そこでフ라운博士に再び手紙を書くはめになった。ガウチャ博士にも書いた。米国聖書協会の幹部会で少し話をして欲しいと頼まれた。引き受ける。議長、書記、会計係とは別に 10 名のメンバーがいた。みな 70 歳から 80 歳の間の高齢男性だった。どのメンバーも、協会自体と同様、尊敬すべき人たちのようにみえた。

帰路、長老派教会ビルに立ち寄ったがフルトン博士は不在だった。ハウリー博士と短時間だが顔を合わせた。

夜、ホンダ監督、メソジストの牧師のミスター・サウ夫妻が来訪、楽しい時間を少々過ごす。

午後は蒸し暑かったが、これを書いている午後 11 時の今、雨が降り始めた。よき雨だ。

July 8th, Friday

It is very hot and staid all day at home. In the afternoon Mrs. Ichinomiya, Mrs Kawama Misawo called at the Ohori family. She is a very intelligent woman. She is not handsome in looks but she has a good expressive face, and dresses neatly with good

taste.

非常に厚く、終日出かけずに過ごす。午後、ミセス・イチノミヤとミセス・カワマ・ミサカがオホリ家を訪ねてくる。彼女はとても知的な女性だ。外見は良くはないが、顔は表情豊かで、服装も趣味が良くきちんとしている。

July 9th, Saturday

Again very hot. Wrote some letters. Wrote Mr. Gamble of Cincinnati and Miss. Helen Gould. In the afternoon too hot to do anything. Mr. Mayuzumi called in the evening. He is in silk business. He once studied in Meiji Gakuin.

今日もまた暑い。手紙を何通か書いた。シンシナタイの、ミスター・ギヤンフルとミス・ヘレン・ゴウルドにも書いた。

午後、何もできないほど暑い。夜、ミスター・マユズミが訪ねてくる。絹織物関係の仕事をしている人物だ。かつて明治学院で学んだことがある。

July 10th, Sunday

From day before yesterday I am troubled with a mild attack of diarrhea. May be because of this hot weather or “[判断不能]” on Japanese diet. Too much rice. It was so hot and I was not feeling well and I did not go to church. When I awoke in the

morning I was perspiring profusely. The heat was terrible in the afternoon. No breeze. Toward evening we heard thunders but in distance. After ten o'clock it improved a little.

一昨日より、軽い下痢症状に悩まされている。この暑い気候のせいか、それとも日本食の[判読不能]のせいだろうか、米食が多すぎるのか。あまりの暑さに気分が優れず、教会にも行かなかった。朝目覚めたときは、大量の汗をかいていた。午後の暑さはひどいものだった。そよ風ひとつ吹かない。夜にかけて、遠くで雷が聞こえた。10時をすぎると、暑さは少しやわらいだ。

July 11th, Monday

The morning paper says yesterday was the hottest day in the year. There were several deaths in the city and in other cities along the Atlantic Board. This morning it is much cooler.

In the afternoon went down to the Presbyterian Building assembly to meet the representatives of different mission boards and talk over with them the pressing problems of the future of Christian education in Japan.

There were present Mrs. Helsey, White and Fulton, persecuting? to Presbyterian Board. Dr. [Stunley?] of the

Methodist, Dr. Chamberlin and Amerman of the Dutch Reformed. Messrs. Wood and McBee of the Episcopal Board, Mr. Morse of the International Committee of the Y.M.C.A. and a few others. Honda was there too but Chiba did not come. Dr. Groucher sent a good letter. Dr. Brown's letter came too late.

I laid before them the present situation and the pressing needs of establishing a Christian university. I said there were three possibilities to accomplish this aim.

1st was the denominational, that is, for each denomination to push undertake this task. Very unwise method.

2nd was undenominational, which is to establish a Christian but independent institution like the Roberts college or the [判読不能] college. Very attractive but difficult to carry out unless there are some men of extraordinary wealth willing to undertake such work.

3rd way is to coordinate and cooperate, and the inter-denominational plan. That is, coordinate the existing schools and unite in establishing a university.

They asked questions about the locality and the probable cost

of land and the attitude of the government, what post graduate course were most needed there.

Honda simply endorsed what I said and he did not speak. After listening to what I had to say they adopted a resolution in favor of such a plan as I had stated. Of course this resolution does not commit their Boards but only expressions of their personal opinions. But it means much coming from such body as this.

After the meeting was over I distributed the printed plea for higher Christian education in Japan.

朝刊によれば昨日は今年一番の暑さだったそうだ。市内で数人、それ以外にも大西洋沿いの市で死者が出た。今朝はだいぶ涼しい。

午後、長老派教会ビルの会合に出席し、異なる会派の代表者たちと会い、日本のキリスト教教育の未来に関する差し迫った問題について話し合った。

出席者は、長老派のミセス・ヘルジー、ホワイト、フルトン、メソジスト派のスタンリー博士、オランダ改革派のチェンバリン博士、アメルセン。米国聖公会のミスター・ウットとミスター・マクビー、Y. M. C. A. 国際委員会のミスター・モース、他数名。本多は出席していたが、千葉は来なかった。

ガウチャ博士は良い内容の手紙を寄せてくれた。ブライウン博士の手紙は届くのが遅すぎた。

私は彼らの前で現状を説明し、キリスト教大学を設立することがどうしても必要であると述べた。そして、それを達成する方策が3通りあると言った。

1つめは、教派ごとに活動するやり方。つまり、それぞれの教派がこの目標を達成すべく別々に活動する。非常に愚かな方法だ。

2つめは、非教派的な方法。ロバート・カレッジや「判読不能」カレッジのような、キリスト教だが独立した教育機関をつくるやり方だ。非常に魅力的な方法だが、巨万の富を持った誰かが引き受けてくれなくてもなければ、実現は難しい。3つめは、調整し、協働していく、超教派のプランだ。つまり、既存の学校間で調整を行い、協力してひとつの大学をつくりあげる方法だ。

彼らからは、設立候補地やそのおよその地価、日本政府の姿勢、最も必要とされる大学院は何か、といった質問が出た。

ホンは私の意見に賛同を示すのみで、自身は話をしなかった。私の説明が終わると、出席者たちは私が示したプラン

を後押しするという結論を承認した。もちろんこれは各教派の正式な関与を約束するものではなく、出席者たちの個人的な意見の表明にすぎない。しかし、これはどの立場の人たちから賛同を得られたことの意味は計り知れない。

会合終了後、日本におけるキリスト教の高等教育機関設立の嘆願書を配布した。

July 12th, Tuesday

Another hot day. Not feeling very well. There was a funeral of a Japanese clerk in the consulate and I was asked to take part with Sato but I excused myself.

またも暑い一日。気分が優れない。日本領事館で日本人職員の葬儀があり、佐藤とともに出席するよう依頼されていたが、辞退した。

July 13th, Wednesday

Went to the Yokohama Species Bank in Wall Street to get some money on the letter of credit. Stopped at Maiden Lane to buy a watch which I had been asked by my sister. And also fountain pens and bed sheets at Wanamaker's. Very hot again.

ウォール・ストリートの横浜正金銀行へ行き、信用状をお金と交換する。メイデン・レーンに立ち寄り、妹より頼まれ

ていた腕時計を購入。さらにワナメイカーズで万年筆とペンケース。今日も非常に暑い。

July 14th, Thursday

Diarrhea has not entirely stopped, and staid all day. A rather interesting man Kawaguchi by name called on Mr. Ohori. He taught Roosevelt jujitsu and told me some interesting things about him. He has a German wife I am told. He seems to be a very earnest Christian but a very narrow minded man.

下痢症状は完全に良くなつてはおらず、終日部屋で過ごす。カワグチという名のなかなか面白い男がミスター・オオホリを訪ねてくる。彼はルーズベルトに柔術を教えていたそうで、ルーズベルトについて興味深い話をいくつかしてくれた。彼の妻はドイツ人だそうだ。非常に熱心なキリスト教信者のようだが、とても丁見の狭い男だった。

July 15th, Friday

Staid in all day. In the evening called in company with Mr. and Mrs. Ohori, and Mr. and Mrs. Ichinomiya the chief of the Y.S.B. in the city. Mr. Ichinomiya is a wide awake young businessman somewhat younger than his wife.

As I was going out found a letter in the box from Dr. Knox

inviting me to come and stay with him a few days.

一日家で過ごす。夜、オオホリ夫妻、市内の Y. S. B. のチャーであるイチノミヤ夫妻と出かける。ミスター・イチノミヤは抜け目のない若いビジネスマンで、夫人よりいくぶん年下のようだ。

出かける際、ノックス博士からの手紙が届いていることに気づく。彼の家で何日か過ごさないかという招待の手紙だった。

July 16th, Saturday

Paid a visit to Mrs. David [Muller] in New Brunswick. I found her quite well, much stronger than I anticipated. Mrs. McCarter is staying with her.

She invited Dr. and Mrs. Chamberlin and Dr. Ingham, the pastor of the Second Reformed Church to dinner. Dr. Ingham was a student in Union Theo. Seminary when I was there in 1890-91. When the dinner was almost over Mr. Jacob called with his boy Morren. It was a very pleasant party.

ニュー・ブRUNSWICK のデイビッド・ミューラー夫人を訪ねる。予想していたよりもずっとしつかりしていい元気そうだった。ワックカーター夫人と一緒に暮らしている。

彼女はチェンバリン博士夫妻、第二改革派教会の牧師イン

ガム博士を夕食に招いてくれた。インガム博士は私が 1890-91 年にユニオン神学校に留学していた頃その学生だった。食事が終わろうとする頃、ミスター・ジェイコブが息子モルテンを連れてやってきた。とても楽しい集まりだった。

July 17th, Sunday

I spoke in the Second Reformed Church. The pastor conducted this service.

In the afternoon Mrs. Murray took me to Dr. Murray's grave in the cemetery. The stone is a natural uncut round stone of brown color. It is rather unique tomb stone in America.

第二改革派教会で説教を行う。礼拝は牧師が執り行った。午後、ミセス・マレーが墓地にあるマレー博士のお墓に案内してくれる。墓石は四角に削られていない、自然な丸みのままの茶色の石だった。アメリカではややユニークな墓石と言えるだろう。

July 18th, Monday

Rained a little this morning in New Brunswick and it became very cool. Left N.B. by 9:37 train and returned to New York.

ニュー・ブRUNSWICK では朝に雨が少し降り、とても涼しくなった。9 時 37 分の電車で N. B. を出発しニューヨーク

クに戻った。

July 19th, Tuesday

The Ochoris went to north field. I went to Dr. Knox's on his invitation to spend a couple of days with him. He has an apartment in the new Union Seminary Building. He took me through the buildings. It is splendid; the lot and the building cost \$2,500,000 he told me. Everything seems to be about as fine as it could be. The Presidents have it in the south western corner. The north wing has ten apartments for as many professors. Dr. Knox has two floors with three sides open.

President Brown invited Dr. and Mrs. Knox, Bishop Honda and me to an informal dinner which was a very pleasant affair. I asked Dr. Brown and Dr. Knox to appoint a committee in Japan as did the Auburn for recommending worthy students for scholarship. They expressed themselves in favor of the plan. オオホリ夫妻はノースフィールドに行った。私はノックス博士の招きに応じ、彼の家で数日を過ごすために出発した。彼は新しくできたユニオン神学校ビルディングにアパートを所有している。彼にビルの中を案内してもらった。素晴らしい。土地と建物で250万ドルかかったそうだ。すべてのも

のが最高級であるように思われる。学長たちは南西の一角に部屋を持っている。北棟には10戸のアパートがあり、教授たちが入れるようになっていた。ノックス博士の部屋は2フロアあり、三方が見渡せた。

アラウン学長がノックス夫妻、ホンダ監督、そして私を非公式の夕食会に招いてくれた。これは非常に心地の良い時間だった。私はアラウン博士とノックス博士に対し、オーバンでしたように、見込みある学生たちを奨学生に推薦するための委員会を日本で開いて欲しいとお願いした。彼らはその計画に賛同すると言ってくれた。

July 20th, Wednesday

In the afternoon Dr. Knox took me to the Coney Island on the new boat. It was a most delightful boat ride. The view of the city from the mount of the pier is magnificent. On this island there are many kinds of shows which we hardly care to see. On the way back Dr. Knox took me to his club, the Century, and we dined there, and came home after 11 o'clock. It was a very pleasant afternoon.

午後、ノックス博士が最新の船でコニー・アイランドに案内してくれた。今まで乗った中で最も快適な船だった。栈橋

の頂上からの眺めは壮大だった。この島ではさまざまな種類のシヨをやってゐるが、我々はまったく興味が^がない。帰路、ノックス博士が彼のクラブ、センチュリーに案内してくれ、そこで食事をし、11 時過ぎに帰宅した。とても快適な午後だった。

July 21st, Thursday

Returned to 103 West 127th Street and found the place all right. I found replies from Mr. Gamble and Mrs. Keef. Mr. G has consented to pay \$3,000 anytime after 15th of August. Mrs. Keef can not offer anything at present. She may possibly do some thing in future.

西 127 丁目 103 番地の家に戻る。特に変わりなし。ミスター・ギャンブルとミセス・キーフから返信が来っていた。ミスター・G は 8 月 15 日以降であればいつでも 3 千ドルを支払えるようだ。ミセス・キーフは現時点では何も支払えないとのこと。将来的には何かしてくれるかもしれない。

July 22nd, Friday

In the afternoon went down to the Pres. Board of Missions and saw Dr. Fulton, saw Miss Burr and asked her to secure a berth on Tempo Maru which sails on the 16th of August from San

Francisco. Went to John Wanamakers to change my fountain pen. I have to go again on Tuesday.

午後、長老派教会の伝道局へ出向き、フルトン博士と会う。ミス・バーに、8 月 16 日にサンフランシスコを出航する天洋丸の予約を頼む。ジョン・ワナメイカーズへ行き、万年筆を替える。来週火曜日にもう一度行かなければならない。

July 23rd, Saturday

In the afternoon took Mrs. Ohori to the Museum of Art. She was very much interested. After a walk in the Central Park came home before dark.

午後、ミセス・オオホリを美術館に案内する。彼女は興味深そうにしていた。セントラルパークを散歩し、暗くなる前に帰宅した。

July 24th, Sunday

Went with Mr. Ohori to a Dutch Reformed Church in the neighborhood. The congregation was small almost 40 in all. The service was good practical one.

In the afternoon it was very hot. Almost the hottest day since I came to New York.
ミスター・オオホリと近所のオランダ改革派教会に行く。信

徒の数は少なく、全部で40人ほどだった。礼拝は実用的で良い内容だった。

午後、非常に暑くなった。私がニューヨークに来て以来いちばん暑いと言っても良いほどだ。

July 25th, Monday

The paper says yesterday was the hottest day in the year. 94 degrees. The humidity 85 degrees. I felt the heat very much. Staid up on the roof until 11 o'clock at night.

昨日が今年最も暑い日だったと、朝刊に書いてあった。華氏94度。湿度は85パーセント。暑くてたまらない。夜も11時まで屋上で過ごした。

July 26th, Tuesday

Last night we three called on Mr. and Mrs. Okami. The last night was one of the hottest nights if not the hottest I have had here. I had to get up at midnight and wipe myself with cold water. Then I sat up for some time at the window.

The morning paper says yesterday was the hottest day. Till late at night thirteen persons died of heat in the city, while the cases of prostration was innumerable.

昨夜、3人でオカミ夫妻を訪ねた。昨日の夜は、こちらに来

て最も暑いとは言わないまでも、最も暑い日のひとつだった。真夜中に起きて、冷水で体を拭き、その後しばらく眠れずに窓際で過ごした。

朝刊によると、昨日は最高に暑い日だったようだ。昨夜遅くまでの間に市内で13人が暑熱のため亡くなり、数えきれないほど多くの人が暑気で倒れた。

July 27th, Wednesday

Went to John Wanamaker's about my fountain pen. Stopped at the office of the Y. M. C. A. international committee. Neither Mr. Morse nor Mr. Mott were there.

万年筆のことでジョン・ワナメイカーズへ行く。Y. M. C. A. 国際委員会の事務局に立ち寄る。ミスター・モースもミスター・モットも不在だった。

July 28th, Thursday

Staid in all day. Very hot again.

家から出ずに過ごす。今日も非常に暑かった。

July 29th, Friday

In the evening called with Mr. and Mrs. Ohori on Dr. and Mrs. Knox, at the Union's seminary. We went into the chapel and saw it lighted. It is a very fine chapel. Read Yamaji's

"History of Money Power in Japan". It is a rather interesting reading.

夜、オオホリ夫妻とともにノックス博士夫妻をユニオン神学校に訪ねる。チャペルに入ると灯りがついていていた。素晴らしいチャペルだ。山路愛山の「現代金権史」を読む。なかなか面白い本だ。

July 30th, Saturday

Strid in all day again and read. In the evening Ohori and his wife and I took a trolley car ride all the way down the Broadway and back. The electric lights along the way are brilliant; some of them are wonderful. It is like seeing fireworks of very electric kind. I wanted to show them to my boys at home. We had a little rain in the morning and it made the night considerably cooler.

今日もまた家にこもり、本を読む。夜、オオホリ夫妻とともに路面電車に乗り、ブロードウェイを往復した。線路沿いは照明が明るく輝いていて、素晴らしい。電気のできた火花を見ているようだ。日本の息子たちにも見せてやりたいと思った。午前中少し雨が降ったため、夜はぐっと涼しくなった。

July 31st, Sunday

In the morning went to the Lenox Reformed Collegiate Church. In the evening spoke at the Shudokwai in one of the classrooms of Dr. Whites Bible training institute. There were more forty Japanese young men and a few ladies. I spoke first and Bishop Honda spoke also.

Thus goes July one of the hottest months I have ever past through. It seemed quite necessary for me to stay here and yet very little was accomplished. Positive answer from Mr. Gamble, and the conference with the representatives of Mission Boards are about all the results of my stay. Still I ought be thankful. Honda tells me his efforts in raising money have been totally in vain. He leaves New York tomorrow.

朝、レノックス改革派大学教会に行く。夜、ホワイト博士の聖書研究会の教室で、修道会メンバーを前に講話する。日本人の若い男性が40人以上、女性が数名いた。まず私が話し、その後本多監督も話した。

この7月は私が今まで経験した中で最も暑いひと月だった。私がおこにいる必要性はかなり高いように思われる一方で、達成できたことはほんの僅かだった。ミスター・ギャンブル

からの前向きな回答、そして教派の代表者たちとの会合が、私がここに来た成果のたまですべてだ。それでも私は感謝すべきなのだろう。本多は、資金集めのための努力はまったく報われなかったと言う。彼は明日ニューヨークを出発する。

August 1st, Monday

In the morning went to East Orange to call on Dr. Hepburn. I found him at home. He has not very much changed in appearance since I saw him four years ago. Only he is weaker. He dresses himself in black just as he used to. He looks like an old minister. He remembered me very well, and seemed very glad to see me. He talked about the old days in Yokohama, about his dictionary and his first attempt to translate the Gospel of Mark. He remembered most of his old friends in Japan but his memory is failing and he is somewhat hard of hearing. But he said he "did not feel a pang and could walk a mile". He said "Tell all my friends in Japan that I am still living and you have seen me".

I staid with him about fifteen minutes or so and then bade him good bye. I shall probably never see him again in this world. But he said "We will all meet in the better world. I am now in

the 96th year and can do nothing but I am happy".

Mr. Ohori took me and his wife to the Japan Club at the W 85th Street and treated me to a Japanese supper. We had a very good maguro no sashimi. We walked through the Central Park, and then came home by the trolley.

午前中、イーストレンジに行きヘボン博士を訪ねる。彼は家にいた。4年前に会ったときから外見はあまり変わらないが、前より弱々しくなっていた。昔と同じ、黒い服に身を包んでいた。年老いた牧師のように見える。彼は私のことをよく覚えていて、私に会えてとても喜んでるようだった。彼は横浜時代の話や、彼がつくった辞書、そして初めての試みだったマルコの福音書の翻訳の話をした。日本の古い友人たちのことはほぼすべて覚えていたが、記憶は少しずつ薄れていて、耳も遠くなっているようだった。しかし彼は「どこも痛いところはないし、1マイルだって歩ける」と言った。そしてこうも言った。「日本の友人たちに、私がまだ生きていること、そしてあなたが私に会ったことを伝えてください。」15分ほど話をした後、彼にさようなを言った。おそらく現世界で彼に会うことはもうないだろう。でも彼は言っていた。「もつと良い世界で、また皆と会いましょう。私は今96歳で

もう何もできませんが、幸せに過ごしています」

ミスター・オオホリが、彼の妻と私を西 85 丁目にあるジャパンクラブに連れて行き、日本食を御馳走してくれる。ラゾロの刺身がとても美味しかった。セントラルパークを横切つて歩き、路面電車に乗って帰宅した。

August 2nd, Tuesday

In the morning went down to the Pres. Board of Foreign Ministers. My order for R.R. and steamer tickets had not come so I have to go down again. But I had an interview with Dr. Brown and Dr. Fulton, and had a good talk with them regarding Meiji Gakuin.

In the afternoon went down to Macy's to buy a blanket for mother, and on the way back bought a few more small articles.

Mrs. [Okami] called and asked me to take with me a little package to Hana.

午前中、長老派教会の外国人牧師の事務局に行く。鉄道と船の切符を頼んでいるが届かないので、また出かけなければならなかったのだ。しかしラザン博士、フルトン博士と面談することができ、明治学院について有意義な話がありました。

午後、母への毛布を買うためメイシーズへ行く。帰る途中、他にこまごまとしたものをいくつか購入。

オカミ夫人より電話あり、はなに宛てた小さな包みを持って帰って欲しいとのこと。

August 3rd, Wednesday

In the morning wrote letters to Dr. Harada, Dr. Goucher, and Dr. Haven of the Bible society.

In the afternoon went to the Board's room again. Got orders for R.R. ticket from Chicago to San Francisco and steamer ticket from there to Japan. Also received one hundred dollars for the R.R. from N.Y. to Chicago sleepers, meals, transfers, fees, hotel bills etc.

On the way back bought sheetings, pillow cases and towels at Hearn's.

午前中、ハラダ博士、ガウチャー博士、聖書協会のヘイゼン博士に宛てて手紙を書く。

午後、再び事務局へ行く。シカゴからサンフランシスコへの鉄道の切符と、そこから日本へ向かう船のチケットの許可証を受け取る。また、N. Y. からシカゴへの寝台列車、道中の食事、乗換え、手数料、ホテルその他の費用として

百ドルを受け取った。

帰る途中、ハーンズで敷布、ピローケース、タオルを購入。

August 4th, Thursday

In the afternoon went to the N.Y. Central ticket office at 125th St. and bought a single ticket to Chicago, and checked my baggage to San Francisco. Every thing is now ready for leaving the city. I spent just about a month in New York from July 3 to August 5, the hottest part of the year.

For the supper Mrs. Ohori made "Gomokuzushi" specially for my sobetsukai. She is a fair cook, though she could improve very much. She follows too blindly the "Kuidoraku" and other Japanese cooking books. I suggested to her to use more of the American vegetables.

午後、125丁目のN. Y. セントラル駅の切符売り場に行き、シカゴ行きの片道切符を買い、サンフランシスコ行きの荷物を預ける。これで、出発の準備はすべて整った。7月3日から8月5日まで、ほぼ一カ月ニューヨークにいたことになる。一年で最も暑い時期だった。

夕食は、オオホリ夫人が私の送別会として特別に「五目ずし」を作ってくれた。彼女は料理が上手だが、もっと上手く

なる余地がある。「食道楽」やその他日本の料理本を鵜呑みにしすぎている。彼女に、もっとアメリカの野菜を使ってはどうかと伝えた。

August 5th, Friday

Took the Empire State Express from the Grand Central at 8:30am. Ohori and his wife came with me to the station to see me off. I enjoyed staying with them and they seemed reluctant to let me leave them. I do not wonder that Mrs. Ohori feels lonely. I admired her to find friends among the American and Japanese ladies living in this neighborhood so that when she is alone and lonely she could call on them.

The train reached Buffalo punctually at 5:15pm. Leaving one of my suitcases and hat case I took the elmwood car and got off at Birds Avenue. Miss Abbie Telford and her sister Miss [判読不能] welcomed me to their home. I remember the houses but this neighborhood has changed. Many houses have gone [判読不能].

午前8時30分グラント・セントラル駅発のエンパイアステート・エクスプレスに乗る。オオホリと夫人が見送りに一緒に駅まで来てくれた。彼らとの滞在は楽しかったし、彼ら

もまた私が去るのが名残惜しいようだ。オオホリ夫人が寂しくなってしまうことはないだろう。私は彼女が、アメリカ人が日本人かにかかわらず、近所に住む女性たちと友だちになってしまいう姿に尊敬の念を抱いてきた。一人でいるときに寂しくなったら、彼女たちに電話すれば良い。

列車は予定通り午後 5 時 15 分にバッドパローに到着した。スーケースと帽子箱を残したまま、エルムウッド路面電車に乗り、ベース・アベニューで下車する。ミス・アビー・テルフォードと、姉妹のミス・「判読不能」が家に迎え入れてくれた。家には見覚えがあるが、近隣の様子は変わってしまった。多くの家はなくなってしまったようだ。

August 6th, Saturday

The Rev. F. H. Coman of the Ashbury Methodist Episcopal Church called and had a pleasant chat with him. Miss Telford arranged with him that I should speak to his church tomorrow morning.

In the afternoon he invited me to take a ride in the sightseeing auto mobile car. I accepted his invitation and I had a delightful ride [判読不能] the city. The city certainly has a number of beautiful parks and "pathways" and avenues with beautiful

houses. The residential gardens are really beautiful. In fact, the most beautiful city of the kind I have ever seen.

アッシュベリー・メソジスト監督教会の F. H. コーマン牧師が訪ねてきて、楽しくおしゃべりをする。ミス・テルフォードが、私が明日彼の教会で講話をするよう勧めてくれた。

午後、彼に観光用の車に招待された。私は招待を受け、素晴らしい市内観光ドライブを経験した。町にはいくつもの美しい公園や「遊歩道」があり、通りの建っている家々も美しい。その庭もまことに美しかった。じっさい、私が見てきたこのような町の中では最も美しかった。

August 7th, Sunday

In the morning I preached in the Ashbury Methodist Church, and I had a large attentive audience, about 300 or more. After the service was over I was requested to speak to the Sunday school children and then to the meeting of men only. I did so. But I was going to leave the pastor insisted on my saying a few words to his own class of young women, and I had to do so. When we parted the pastor insisted on giving me \$15.00 which was entirely unexpected by [me].

In the afternoon had a quick talk with Miss. Telford and her

sister.

The visit to Buffalo was altogether a pleasant one.

午前中、アッシュベリー・メソジスト監督教会で説教を行う。聴衆は300人かそれ以上と多く、みな熱心に聞いていた。礼拝後、日曜学校の子供たちと、その後男性のみの会合でも講話して欲しいと頼まれたのでそのようにした。終わって帰ろうとすると、牧師が自分が受け持っている若い女性のクラスでも一言話して欲しいと言ったため、そのようにした。別れ際、牧師は私に15ドル渡すと言ってきかなかった。私にとってはまったく思いもよらないことだった。

午後、ミス・テルフオードとその姉妹と短い時間話す。

バツァロー訪問は、総じて気持ちの良いものだった。

August 8th, Monday

Bade good bye to Miss. Telford and her sister about 6:48am.

Reached the station 7:25. I thought I could go by the Michigan Central as well as Lake Shore and as there was a crowd of people waiting at the ticket office, I did not hurry very much, in fact I was obliged to wait and when my turn came the Lake Shore train was gone, and I had to wait long long six hours. I took 1:25pm by the Lake Shore, and got to Chicago at 1:25am

Tuesday.

Walked to the La Salle Hotel and found only one room vacant, a \$5.00 room. I had simply to take it. A great Masonic convention is just going on, and every hotel is full. I was really very fortunate to getting a room. After midnight, I enjoyed a bath and went to bed but it was so hot that I could hardly sleep.

午前6時48分頃、ミス・テルフオードと彼女の姉妹に別れを告げる。7時25分駅到着。レイクシヨア線でもミシガン・セントラル線でも行けると思ったが、切符売り場には大勢の人がいたため、あまり急がなかった。じっさいには長く待たされてしまい、自分の順番が来たときにはレイクシヨア線は出てしまっており、6時間もの長い長い時間を待つことになった。午後1時25分のレイクシヨア線に乗り、火曜日午前1時25分にシカゴに到着した。

ラ・サル・ホテルまで歩いていくと、空いている部屋は一つしかなく、料金は5ドルだという。受け入れるしかなかった。フリーメーソンの大きな大会が開催中で、どのホテルも満室である。一部屋空いていたのは誠に幸運だった。夜中を過ぎてから気持ちよく風呂に入り、ベッドに入ったが、あまり

にも暑くてほとんど眠れなかった。

August 9th, Tuesday

Went to the office of the Chicago and North Western R.R. Company and secured R.Way ticket to San Francisco and also a ticket for a berth. Then took the elevated car to the Chicago University. As I reached the university ground, a Japanese student came up to me and introduced himself as Karo Katsuji. He said he has been a student in Tokyo Gakuin and heard me speak. He showed me through some of the buildings. They are all good aged and substantial but somehow incomplete or unfinished.

Called on Prof. Star's office but he was out. Left my card. Waited at Prof. Burton's office till he finished his lecture. He took me to the club and I had a good talk with him on the general situation of Christian education in Japan.

I asked his candid opinion, as an outsider, in regard to the need to meet this present crisis. He thought a union college of high standard supported by different denominations was a great [判読不能]. In fact his ideas agreed pretty much with my own. I showed a report of a conference in N.Y. and also gave him

copies of my address on high Christian education.

He said he will gladly use his influences in prosecuting the course.

I asked him whether he could speak positively as to the result of his investigation in Japan.

He said I had better act as though he never visited Japan. So it is placed we can expect nothing from that direction.

I then asked him whether scholarships of which he spoke in Japan should be available when this union college is established. He thought it was possible but of course could not say anything definite, but he took note and promised to let me know after consulting to the President.

We met the President as we were going over to the club, and he introduced me to him.

At the club we were having our lunch. Prof. Adams Brown of [判読不能] came in and I was introduced to him. He sat at our table and we had a pleasant talk. He is still a young man. He struck me rather as heavy. He was kind and came out of his way to show me my car to the hotel.

On my way back to the hotel the parade of the Masonic

brotherhood in uniforms and carrying banners, playing brass bands still going on, and the streets were blocked and I had great difficulty coming through. I suppose they need such toys. They are crazy over them. I struck the city at a very bad time. All these made me feel like to get away from the place as quickly as possible.

シカゴ&ノース・ウェスタン鉄道の切符売り場に行き、サンフランシスコ行きの切符と、寝台の切符も買った。その後高架鉄道に乗ってシカゴ大学に行く。大学の敷地に差しかかる、一人の日本人学生が近づいてきて、カトウ・カヅジと自己紹介をした。以前は東京学院の学生で、私の講話を聴いたことがあるという。彼は建物のいづつかを案内してくれた。どれもがツリリした良い建物だが、どこか不完全で未完成な感じがあった。

スター教授の部屋を訪ねるが不在だった。名刺を残しておく。バートン教授の部屋で、彼の授業が終わるまで待った。彼は私を行きつけのクラブに連れて行き、日本におけるキリスト教教育の全般的な状況について、色々な話をした。

私は彼に、現在の危機に対応するにはどうすれば良いと思うか、部外者としての率直な意見を求めた。異なる宗派が

協力して高水準の大学を作るのが良いだろうとの意見だった。実は彼の意見は私とはほぼ同じだった。私は N. Y. での会合の記録を見せ、さらにキリスト教の高等教育に関する私の演説の写しを彼に渡した。彼は、この考えを実行に移すために、喜んで自分の影響力を使おうと言ってくれた。私は、日本の調査結果について前向きな話をしてもらえたらどうかと訊いた。

彼は、自分が日本に一度も行ったことがない風にあなたはふるまった方が良い、と言った。つまり、その方面からは何も期待できないということだ。

私はそれから、彼の言う日本における奨学金制度は、このユニオン大学が設立された際には設置されるのかと訊いた。彼はそれは可能だろう、しかし断言することはできないと言ったが、学長に訊いて回答内容を知らせると約束してくれた。

学長とはクラブに行く途中に出会っており、彼が引き合わせてくれた。

クラブで昼食をとっている最中に「判読不能」のアダムス・ブラウン教授が入ってきて、引き合わされる。彼は我々のテーブルに座り、楽しく会話をした。まだ若い男性だ。私

にはがっしりとした体格に見える。彼は親切な人で、ホテルに戻る車までわざわざ私を案内してくれた。

ホテルに戻る道中、制服を来たフリーメンソンの集団が旗を振ったり、グラスバンド演奏をしたりしながらパレード中で、道路が封鎖されていたため、通り抜けるのに大変難儀をした。彼らにはこうした小道具が必要なのだろう。そういうものに夢中なのだ。私は非常に悪い時期にこの街に来てしまったようだ。これらすべてによって一刻も早くこの場所から出たいという気分になってしまふ。

August 10th, Wednesday

In the morning paper I see that Mayor Gaynor of New York has been shot and seriously wounded by a dismissed employer of the city. Feel a real sympathy for him. Upright men in this "Land of Liberty" is as much in danger as in other countries, if indeed not more so.

In the morning it was quite cool but afternoon quite warm. ニューヨークのグレイナー市長が解雇された市の元職員に撃たれ、重傷を負ったことを朝刊で知った。心から彼に同情を覚える。この「自由の国」において良心的に生きる男たちは、他国と同じくらい、いやそれ以上に危険にさらされて

いる。

August 13th, Saturday

Arrived here at San Francisco on time. Mr. Terasawa came out to the ferry to meet me. Two Japanese young men also were at the station and helped me carry my suitcases. Mr. Terasawa kindly invited me to stay with him instead of the Misawa building at [Haigt?] because that was now out of the way and very inconvenient. I accepted his invitation and came to his house [判読不能] of which is now used as their meeting place.

Kiminuma called in the evening. He is doing well.

Thursday and Friday: there was nothing special to put down.

Rather hot during the day and cold at night.

This morning Mr. Terasawa took me to call on Dr. Stanger. He was out but Mrs. Stanger was in. They have not changed at all since I saw them last four years ago.

We went with them to the office of the Pacific Mail Steamship Company and got my ticket for Tenyomaru. Went to Emporium and bought a sheet of blanket and a half dozen collars.

The baggage came all right. A wrong address was given by mistake and there was some delay in getting it. But it came all right at last. Mr. Nakamura invited me and Mr. Terasawa to a Chinese supper. While we were there I picked up an evening paper and was surprised to find in it a cablegram from Tokyo about a fearful flood in Tokyo. Fukagawa and Honjo ku seem to be entirely submerged. Four or five hundred people are said to be drowned and thousands are homeless.

In the evening they had sobetsukai for one of the church members and his wife who are going home and a kangaikai for me.

サンフランシスコには定刻通り到着した。ミスター・テラサワが船着き場まで迎えに来てくれた。2人の若い日本男性も駅に来ており、スーツケースを運ぶの手伝ってくれた。ヘイトにあるミサワビルは今や人通りがなくても不便なため、ミスター・テラサワは親切にも自分の家に泊まるよう勧めてくれた。私は彼の招待を受けることにし、現在は集会場所にもなっている「判読不能」彼の家にやってきた。

夜、キミヌより連絡あり。元気にやっていた。

木曜日と金曜日：特筆すべきことなし。日中はかなり暑く、

夜は寒かった。

今日の午前中、テラサワがスタンガー博士のところへ連れて行ってくれた。彼は外出中だったが、スタンガー夫人は在宅だった。4年前、最後に会った時から全く変わっていいなかった。

彼らとともにパシフィック・メール・ステイムシツア会社の切符売り場に行き、天洋丸の切符を手に入れる。エンポリウム百貨店に行き、毛布を一枚と「交換用の」襟を6つ購入した。

荷物が無事届いた。手違いで誤った住所が表記され、届くのが遅れたが、ようやく届いたというわけだ。ミスター・ナカムラが私とミスター・テラサワを中国料理の夕食に招いてくれた。店の中で夕刊を手にとると、東京で恐ろしい洪水があったという海底電信経由の記事が載っていて驚いた。

深川区や本所区は完全に浸水してしまったらしい。400人から500人が溺死し、何千人もの人々が家を失ったそうだ。

夜、日本に帰国する教会メンバーと彼の妻のための送別会と、私のための歓迎会が開かれた。

August 14th, Sunday

In the morning I preached at the Japanese Presbyterian church.

There were about sixty people present.

In the afternoon I spoke in the Congregational church at Polk Street which is near us. There were present between 250 and 300 Japanese. It was a very good audience. Spoke about an hour. They listened very attentively.

After the meeting several members of the Japanese Y.M.C.A. came and discussed the question of improving this organization. It seems to have run down recently.

午前中、日本人のための長老派教会で説教を行った。60名ほどが出席していた。

午後、我々の教会にも近い、ボークストリートにある会衆派教会で講話した。250名から300名ほどの日本人が出席した。非常に良い聴衆だった。1時間ほど話をしたが、皆熱心に聞き入っていた。

講話の後、日本 Y. M. C. A. のメンバー数名がやってきて、この組織の改善問題について議論する。最近人数が減ってきているようだ。

August 15th, Monday

In the morning bought araike and mizunabura which I was asked by Mrs. Ohori to procure in Japan and posted them by

mail. Then went to Emporium to get a few articles. Shoes, a cap etc.

Mr. T. Nakamura took me to the Golden Gate Park and on the way back invited me to a Japanese lunch. He has been very kind.

Wrote to Ohori and his wife, Arakawa and some others.

Packed up my things.

午前中、オオホリ夫人に入手を依頼されていた洗い粉と水漉を買い、郵便で送った。その後、エンポリウム百貨店に行き、いくつかの品々を購入。靴、帽子など。

ミスター・T. ナカムラがゴールデン・ゲート・パークに案内してくれ、帰る途中に日本食のランチに招待してくれた。彼はとても親切だった。

オオホリ夫妻、アラカワ、その他何名かに手紙を書いた。荷造りをした。

August 16th, Tuesday

Mr. and Mrs. Terasawa and several young men came to see me off. The steamer Tenyo maru is at the new pier of the Western Pacific R.R. Company with which the Y.K.K. is to be connected hereafter. It is reputed that in future the Tenyo,

Chiyo and Genyo will run directly between Yokohama and San

Francisco, while the smaller Nippon and America will stop at Honolulu.

There are hundred twenty cabin passengers. Among them are the Baron Oura and his party; that is, his interpreter and secretary, Mr. Sakai and Mr. Hori. There are several missionaries going to China and Siam, and two young Japanese ladies who studied medicine in Philadelphia.

The sea was not rough but there was a swell and good many passengers were sea sick and did not appear at the table.

テラサワ夫妻、若い男性数名の見送りを受ける。天洋丸はウェスタン・パシフィック・R. R. 社の新しい埠頭に停泊し、この後 Y. K. K. に接続される。将来的には、天洋丸、地洋丸、玄洋丸が横浜—サンフランシスコ間を直通で運航し、より小型の日本丸、垂米利加丸がホノルル経由で運航すると言われている。

一等・二等船客は 120 名。その中に大浦男爵とその一行、すなわち彼の通訳と秘書のミスター・サカイとミスター・ホリがいた。中国とシヤムに向かう伝道者が数名、そしてフィラデルフィアで薬学を勉強した若い日本人女性が 2 名。

海は荒れてはいなかったがうねりがあり、かなり多くの乗客が酔っ払いになったため、夕食には姿を見せなかった。

August 17th, Wednesday

The ship rolled all day because of the swell. It is also rather cold to be comfortable. Spent the morning reading Tokyo papers.

I was introduced to Baron Oura yesterday. He talks little. Had a rather good talk with Mr. Sakai about Christian education in Japan. Also with Mr. Takaku of the Okura Company next to me at the table.

大波で船は終日揺れていた。さらに、快適というにはいささか寒すぎる。東京の新聞を読んで午前中を過ごした。

昨日、大浦男爵に紹介された。口数の少ない人だ。日本におけるキリスト教教育について、ミスター・サカイとなかなか有意義な会話をする。食事テーブルで席が隣の、大倉財閥のミスター・タカクとも話をした。

August 18th, Thursday

Got up early in the morning and enjoyed bath. It is cloudy in the morning, looks like rain. In coming back to the cabin I found three letters lying on the desk. One of them was from Hana which was forwarded from New York. Another was from

Mr. Gamble saying that he has sent order to his office to pay \$3,000 to Mr. Day, the treasurer of the Presbyterian Board. Baron Oura invited me to a Japanese dinner in his state room. There were his two secretaries, Sakai and Hori, and Mr. Takaku also was invited. And it was really a good Japanese dinner. We had sashimi, shioyaki of smelts, which was something like ayu. Umani and sasumajiru, and then beautiful Californian fruits.

He talked freely about his observations in Europe and America. When I asked him what he admired most in their cultures he replied "the roads," the fine roads.

Had nice chat with the captain, and afterward with the chief mate.

The sea is perfectly calm and it is much warmer in the afternoon.

Mr. Sugimura came to see me and told me that the young members of the church do not like their pastor, there is constant trouble between them. He asked me to find someone for the position.

早起きして風呂を楽しんだ。朝のうちは雲が多く、雨が降

りそうだ。客室に戻ると、デスクに手紙が3通置かれていた。そのひとつは花からで、ニューヨークから転送されてきたものだった。もう一通はミスター・ギャンデルからで、長老派役員会の会計担当ミスター・デイ宛に3,000ドルを支払うよう、事務所に指示を出したと書かれていた。

大浦男爵より、彼の個室での日本食ディナーに招待される。そこにはお付きのサカイとホリとともに、ミスター・タカクも招待されていた。とても素晴らしい日本食の夕食だった。刺身、アユに似た魚スモルトの塩焼き。旨煮に薩摩汁、そして美しいカリフォルニアの果物類。

彼はヨーロッパとアメリカに関する見解を気ままに話した。私が彼らの文化の何を最も尊敬しているか尋ねると、彼は「道路」、すべれた道路だと答えた。

船長、そして後に一等航海士とも話した。

海は完全に無風で、午後はずっと暖かくなった。

ミスター・スギムラが私のところへやってきて言うには、教会の若いメンバーたちが牧師とうまくいっておらず、両者の間で頻繁に諍いがあるとのこと。誰か別の人物と交代させてほしいと頼まれた。

August 19th, Friday

Bright morning. It is getting warm now, coming near the Tropics. It was a beautiful day, calm all day. The night also was beautiful. It was full moon and the moonlight on the water was beautiful. The steamer Wilmina (?) passed by us just about 10 p.m. It was about seven miles away from us to the south. Everybody now seems to be enjoying this voyage.

日差しっぱい朝だった。北回帰線に近づくにつれ、気温が上がってきた。一日中穏やかな、素晴らしい日だった。夜もまた美しかった。満月で、海面に映る月が美しかった。午後10時頃、汽船ワイルミナ号とすれ違った。我々の約7マイル南を航行していた。今では乗客の誰もがこの船旅を楽しんでいる。

August 20th, Saturday

Another calm delightful day. It is quite warm. The captain and other officers of the ship have put on their white suits.

The moon was beautiful again.
今日もまた穏やかな明るい一日。かなり暖かい。船長はじめ高級船員たちは白の制服に変わった。
今夜もまた月が美しかった。

August 21st, Sunday

Quite warm. A divine service was held in the dining room. I was asked to speak and I did so. But a young Episcopal missionary to China conducted the service. He acted as though he were in one of his own churches and followed the prayer book strictly and a very unfortunate thing happened. That is to say, he prayed for the President of the U.S. but did not have a word of prayer for the Emperor of Japan in spite of the fact that we were sailing under the Japanese flag.

Moreover when he introduced me to the audience he said, Mr. Ibuka will now talk. That was evidently a snob, implying that I was not a minister. I have no patience with this Episcopal conceits, or nonsense.

In the afternoon I spoke of the notion to Mateer and Harris two Presbyterian missionaries who had asked me to preach. They expressed sorrow, but excused the young missionary upon ground of his ignorance and inexperience. I used rather strong language in talking with them, perhaps more so than discreet. But I felt it very much.

After the service many men and women came forward and

warmly expressed their appreciation of my address. One man, an elder in the Presbyterian church borrowed my notes.

かなり暖かい。食堂では敬虔な礼拝が行われた。私は頼まれて説教を行った。しかし、礼拝を取り仕切ったのは中国へ向かう若い米国聖公会の伝道師だった。彼はまるで自分の教会にいるかのようにふるまい、祈祷書を厳格にたどって儀式を進めた挙句、誠に不幸なことが起こった。すなわち、彼は米国の大統領のために折りましようとしてだけ言い、日本の天皇陛下のための折りの言葉を一切述べなかったのだ。我々が日本の国旗のもとに船旅をしているにもかかわらずである。

さらに、彼は私を聴衆に紹介する際、これから井深氏が話します、と言ったのだ。明らかに私が牧師ではないことをほのめかす、傲慢な態度だった。米国聖公会のこうした傲慢さ、愚かさには我慢ならない。

午後、私に説教を依頼してきた長老派教会の二人の宣教師、マテアとハリスにこの意見を伝えた。彼らは遺憾の意を示したが、その若い伝道師の無知と経験不足がそうさせたのだらうと説明した。私は彼らと話す際、控えめとは言いがたい強い言葉を使ってしまったと思う。しかし、本当にそう感

じたのだ。

礼拝後、多くの男女が前に進み出て、熱心に私の説教への感謝の意を述べた。長老派教会のとある高齢の男性は、私のメモを借りていった。

August 22nd, Monday

The boat arrived at the new pier a little before nine a.m. Many Japanese were waiting there and among them was Mr. Morokawa. He was expecting me but somebody else. Fortunately for me the man whom he was looking for did not come and he was my host.

After taking me to the Port Office, the market and the barber's shop I took me to his own house in the northern suburb of the city. He lives a cosy foreign built bungalow. Met his wife and children two boys and two little girls. Had a Japanese lunch *ginabe* and read Japanese papers. Mr. Morokawa invited me to a Japanese dinner at the Mochizuki hotel. Messrs. Kajino, Okumura, Hori, Nakamura and another Evangelist came and we had a nice dinner and pleasant talk.

I had no intention of spending the night on shore but insisted on my doing so, and I could not very well decline to accept

their kindness and had a very cool restful night. It was perfectly quiet. Certainly the Mochizuki is a delightful spot in Honolulu.

船は9時少し前に新しい埠頭に着いた。多くの日本人が来ており、その中にミスター・モトカワがいた。彼は私ではなく他の誰かを待っていたのだ。しかし私にとっては幸いなことに彼の待ち人は来ず、私が彼の客になった。

港の事務局、市場、そして床屋に私を案内した後、彼は市の北部郊外にある彼の家に私を連れて行ってくれた。そこは居心地の良さそうなバンガロー風の家だった。彼の妻と子供たち、2人の男の子と2人の小さな女の子にも会った。日本風の生鰻の昼食をとり、日本の新聞を読んだ。ミスター・モトカワがモナツキホテルでの日本食のディナーに招待してくれた。カジン、オカムラ、ホリ、ナカムラ、そしてもう一人別の伝道者が来て、美味しい夕食と楽しい会話をともにした。

陸で宿泊するつもりはなかったが、そう強く勧められ、彼らの好意を断ることができず、とても涼しく快適な一夜を過ごすことになった。とても静かな夜だった。モナツキホテルはホノルルの中でも素晴らしい場所だ。

August 23rd, Tuesday

Left the hotel at 8 a.m. and when I came to the pier there was a great crowd of people, the passengers and their friends to see them off. The Waseda baseball team are going back on this steamer. They have been very popular. Baron Oura also is on board so that there were unusually great crowd of Japanese. The brass band played the Kimigayo and "America". The pupils of the Hawaii middle school were in a body and they cried Banzai so that it was a very lively departure. The Japanese seemed to have literally taken possession of the place. One felt it were Japan. And it is no wonder that the Americans are a little bit uneasy about the Hawaiian islands. There are 70,000 Japanese and 5,000 of them registered as native sons. When they reach majority they will have rights to vote.

朝8時にホテルを出た。埠頭には船客と彼らを見送るたくさんの人々がいた。早稲田の野球部も同じ船で帰国する。彼らは人気者だった。大浦男爵が乗っているため、いつになく大勢の日本人が集まってきた。ブラスバンドが君が代と「アメリカ」を演奏し、地元の中学生たちが一団となつて万歳と叫ぶなど、とても活気のある出発となった。日本

人が文字通りその場を支配してしまったかのように見えた。

まるでここが日本であるかのようなうた。アメリカ人がハワイ諸島に居心地の悪さを感じるのも無理はない。ここには7万人の日本人がおり、うち5,000人が現地人として登録されている。過半数に達すれば選挙権を得ることになるのだ。

August 24th, Wednesday

A calm beautiful day. It was quite warm in the state room at night so that I slept on the sofa instead of the bed.

穏やかな素晴らしい一日。夜の個室はかなり暖かく、ベッドではなくソファで眠った。

August 25th, Thursday

Another beautiful day, no wind. The sea perfectly calm. In the afternoon they had sport, the potato race and "cock fight". A young Englishman won the former and one of the Waseda team won the latter. Reading A. C. Benson's essays called "At Large". He is a delightful writer.

今日もまた素晴らしい一日。無風。海は静かだった。午後、スポーツ大会が行われた。ジャガイモ転がしレースと「コックファイト」だ。前者は若い英国人男性が、後者は早稲田チームの一人が勝った。A. C. ベンソンの『At Large』とい

うエッセイを読む。彼は素晴らしい作家だ。

August 26th, Friday

Another delightful day, the calmest day we have had thus far. The sea was like mirror, the sunset gorgeous. One of the passengers Mr. J. S. Vosburg lent a book called "Brain and Personality" by W. Hanna Thompson. I read first few chapters of it and find it extremely interesting.

They had more sport this afternoon; the egg and spoon race, the needle and cotton race and the pillow fight. They were all amusing but the last was most exciting and amusing. The Waseda students took part in it.

今日もまた素晴らしい天気、この航海中最も穏やかな日だった。海面は鏡のようで、夕焼けは見事な眺めだった。乗客の一人ミスター・ヴォスブルグがW. ハナ・トンプソン著『脳と性格』という本を貸してくれた。私は何章かを読んでみて、非常に引き込まれた。午後にはまたスポーツ大会があった。エッグ&スプーン・レース、針の糸通しゲーム、そして枕投げゲームだ。どれも面白かったが、最後のがいちばん盛り上がり、楽しめた。早稲田の学生たちが参加していた。

August 28th, Sunday

We past the 180 degree last night and so drop the Saturday. The same young Episcopal missionary read the service. He read it so hurriedly that I could not understand [ha?] what he read but I learned from Mr. Sakai that this time he read "the Emperor of Japan" in place of the President of the U.S.A. Why did he leave out the President? Dr. Myers of Shanghai gave a neat address on foreign missions answering some of the most popular objections against them.

A south westerly wind and occasional showers. The wind is warm and damp.

昨夜、経度 180 度 [日付変更線] を越えたため、土曜日を飛ばして日曜となる。

先週と同じ米国聖公会の伝道師が説教の言葉を読んだ。あまりに慌てたように読んだので私には内容が聞き取れなかったが、ミスター・サカイによれば、今回彼は米国の大統領と言う代わりに「日本の天皇陛下」と読み上げたそうだ。なぜ大統領を除外するのだろうか？ 上海のマイヤーズ博士が、外国での伝道活動に関するおもな反対意見に対して、丁寧な説明を行った。

南西の風、時々にかか雨。風は湿って生ぬるい。

August 29th, Monday

A little bit chilly; had to put on heavy clothing. More sports in the afternoon and in the evening the sailors and firemen had wrestling matches to the great amusement of the passengers. They made a dolyo on the A deck and the gyoji wore kamishimo, the strongest ones had their hikimawashi and they went through dohyoiri too very like a real sumo. 少し肌寒い。たくさん着込んだ。

午後にはまたスポーツ大会、そして夜は船員や機関士たちによる相撲の試合が行われ、乗客は大いに楽しんだ。甲板には土俵が作られ、行司役は袴を身に着け、強い力士はひきまわしを着けて、本物の相撲のように土俵入りを行った。

August 30th, Tuesday

News came by the wireless from Japan to the effect that the annexation of Korea was proclaimed yesterday 9a.m. The eight articles of the convention were published in the steamer news paper at the dinner tonight. But the Baron Oura called Mr. Abe and myself in to his cabin this morning and showed us the telegram.

日本からの無線連絡により、昨日午前 9 時に韓国併合が発効されたとのニュースが入った。夕食時には、船が発行する新聞に条約の全 8 条が掲載された。しかし午前うちにミスター・アベと私は大浦男爵の個室に呼ばれ、男爵宛に届いた電報を見ていた。

August 31st, Wednesday

We are now on the Kuroshio. The air is warm and damp. We are against the current too so that we did not make more than 364 miles, twenty miles less than yesterday.

More sport in the afternoon and in the evening they had a fancy ball. No Japanese took part in it but quite a number of passengers dressed themselves in fancy style and danced. One appeared as a Chinese mandarin, two as cowboys, one as a sailor too. The young English man who sits next to me at the table was dressed as a girl.

[判読不能] news by the wireless. Seoul was quiet as usual on the day of the proclamation of the annexation.

Sent home message by the wireless giving the time of arrival at Yokohama.

黒潮の海域に入った。空気は湿って生暖かい。海流に向

かって進んでいるため、昨日より 20 マイル少ない 364 マイルほどしか進まなかった。

午後にはスポーツ大会、夜には仮装舞踏会が催された。舞踏会に参加する日本人はいなかったが、かなりの数の乗客が工夫を凝らした衣装に身を包んで踊っていた。中国の古代高級官僚の格好で現れた者が一人、カウボーイ姿が二人、水夫のいで立ちが一人。夕食で席が隣の若い英国人男性は、少女の格好をしていた。

無線からのニュース。韓国併合が発効された日、ソウルは普段通り平穏だったそうだ。

無線経由で、横浜到着時刻を本国に知らせた。

September 1st, Thursday

A brisk head wind all day. The dining room was decorated with flags and a fine dinner was served. Everybody was in good humor. A resolution of thanks signed by all the cabin passengers was presented to the captain and prizes for different sports were given by the chairman of the committee to the [判読不能] winners. The Waseda boys carried two and a little Japanese boy another.

終日、涼しい向かい風。ダイニングルームは旗で飾り付けさ

れ、豪華な夕食が出された。誰もが上機嫌だった。個室客全員の署名入りの感謝状が船長に手渡され、スポーツ大会の各種目の「判読不能」勝者には、委員長から賞品が授与された。早稲田の学生たちには賞品が２つ、小さな日本人の男の子にも１つ渡された。

September 2nd, Friday

Got up at 5 o'clock, took bath as usual, and got ready to land. Gave ¥3 to the bath boy, 5 to the cabin boy, 2 to the shoe cleaning boy, five to the table boy and 2 to the deck boys. We sighted land about 10 o'clock. The view of the bay as we entered it and past by the Kwannonzaki is superb. The day was fine, the hills green and the Fujisan was glorious. Every passenger on board was charmed with it. But when we came to the harbor our feelings underwent a radical change. It took so long to land after the boat entered the harbor. I fortunately landed with Baron Oura in a special launch but I had to wait a full hour before my baggage came which I directed to be brought in a special sampan, but every thing seems so slow. I had to spend a considerable time at the customs and had to pay ¥3.20 on fountain pens. Hana, Chiyo, Kenji, Katayama,

Sentaro and others came out to meet.

Came to Tokyo by 4:45 train, met Kusano and other teachers and friends. So returned home safely after four months journey around the world. At the dinner returned most hearty thanks to the Heavenly Father who has kept me and the family in safety and good health during this time.

5 時起床。いつも通り入浴してから、上陸の準備をする。お風呂番に 3 円、船室の給仕係に 5 円、靴磨きに 2 円、テーズルの給仕係に 5 円、デッキボーイたちに 2 円を渡す。10 時頃、陸が見えてきた。湾に入り、観音崎を通過する際の眺めは素晴らしかった。天気が良く、丘は緑色で、富士山は壮大だった。甲板に出ていた乗客の誰もが魅了された。しかし、船が港に着くと、我々の気分はガラッと変わるようになってしまった。港に着いてから、上陸できるまでにあまりにも長く待たされたのだ。私は運よく大浦男爵専用の特別なボートで上陸することができたが、別あつらえのサンパングで運ぶよう手配していた荷物が来るまで、たつぷり 1 時間も待たねばならなかった。何もかもが非常に遅い。税関でも相当待たされた挙句、万年筆に 3.2 円払う羽目になった。花、千代、健次、片山、仙太郎その他が迎えに来た。

4時45分の鉄道で東京に着く。クサノをはじめとする教師たち、友人らに出迎えられる。世界をまわる4カ月間の旅から無事に帰ってくることができた。夕食の席で、この間私と家族の皆を健やかに安全に守ってくださった父なる神に心からの感謝を捧げた。